

宇宙の騎士

# テッカマンブレード

TEKKAMAN

BLADE



スペースナイツをはじめとする  
貴重な設定画を一挙掲載!



1992年から1993年にかけて放送された『宇宙の騎士テッカマンブレード』の本格ムックがここに初降臨。作品が持つその高いSFマインドは、観た者の心を揺さぶり続ける。そして今尚多くのファンに語り継がれる名編の世界観をこの一冊に凝縮。

## ハードSFアニメの金字塔、徹底詳解!



# CONTENTS

- 004 「宇宙の騎士テッカマンブレード」とは
- 005 放送リスト & キャスト
- 006 プロローグ～設定集「運命地球暦192年」
- 008 謎の侵略者ラタム
- 010 テッカマンブレード
- 017 Dボウイ
- 018 アキ
- 019 ノアール
- 020 本画/ルビィ/ミリー
- 022 フリーマン

## 023 STORY of TEKKAMAN BLADE

- 024 第1話 天敵ける悪人
- 026 第2話 孤独の戦士
- 030 第3話 防衛軍の野望
- 032 第4話 理由なき敵前逃亡
- 033 第5話 オレを殺せ
- 034 第6話 テックセクト不能
- 036 第7話 機動兵へガス発進
- 040 第8話 謎の従軍記者
- 042 第9話 救出! 水尾クルー
- 042 第10話 戦火に書く子守歌
- 044 第11話 Dボウイファイル
- 044 第12話 赤い戦慄エビル
- 046 第13話 宿命の兄弟
- 048 第14話 血をむけた悪魔
- 049 第15話 電撃蘇る
- 051 第16話 誓切りの月夜
- 051 第17話 鋼鉄の救世主
- 052 第18話 芽生への代償
- 055 第19話 心閉ざした戦士
- 056 第20話 復讐! 怒りの宴會
- 058 第21話 愛と死の予感
- 061 第22話 ミユキの決意
- 062 第23話 懐かしげの再会
- 063 第24話 引き裂かれた過去
- 065 第25話 新たなる悪魔
- 068 第26話 死をかけた戦い
- 070 第27話 探りし者への遺産
- 070 第28話 白くぬる人
- 072 第29話 戦いの野に花を
- 073 第30話 父の面影
- 073 第31話 復讐の仇
- 074 第32話 待ちわびた少女
- 074 第33話 荒野の再会
- 075 第34話 光と影の兄弟
- 077 第35話 霧の中の敵
- 077 第36話 決戦!! アックス
- 079 第37話 奪まれた肉体
- 081 第38話 究への迷宮
- 084 第39話 超戦士ブラスター
- 087 第40話 愛と戦いの二人
- 088 第41話 エビル 蘇る悪魔
- 090 第42話 愛! 赤い涙
- 091 第43話 決別の鼓動
- 092 第44話 泣き来る男
- 093 第45話 重宝の侵略者
- 093 第46話 時の止まった家
- 093 第47話 愛と死の運命
- 094 第48話 社! エビル死す
- 097 第49話 憎えつくる命

## 100 宇宙の騎士テッカマンブレード新番組「企画書」

- 106 オープニングテーマ「REASON」
- 109 TEKKAMAN BLADE ANOTHER
- 113 宇宙の騎士テッカマンブレードII
- 117 「コウム」放送当時のグッズ
- 118 梅田もとき「プロデューサー」インタビュー
- 122 瀬川英達「作画コーディネーター」インタビュー
- 124 後山善樹「メカニックデザイン」インタビュー
- 126 宇宙を駆け回る騎士を彩る交響楽～28年後に聴くテッカマンブレードII
- 130 宇宙の騎士テッカマンブレード最新情報

## 133 「付録」宇宙の騎士テッカマンブレード【設定資料集】





## 宇宙の騎士テッカマンブレードとは

1992年に創通エージェンシー（現・創通）、タツノコプロによって製作され、2月18日から翌1993年2月2日までテレビ東京にて放送された。その内容は、放送第1回目（第0話）にて、原作となった1975年制作の『宇宙の騎士テッカマン』を紹介しているものの、一部の固有名詞を使用しているのみで、設定やドラマに関連性はなく、全く別のヒーローアニメとして描かれており、敵にもまたテッカマンが存在するのが新斬であった。全49話。



## 放送リスト

放送	制作局	放送日時	放送局	放送日時	放送局	放送日時	放送局	放送日時
0	1992年2月19日	放送開始	2期	2期	2期	2期	2期	2期
1	2月25日	放送開始	3期	3期	3期	3期	3期	3期
2	3月1日	放送開始	4期	4期	4期	4期	4期	4期
3	3月8日	放送開始	5期	5期	5期	5期	5期	5期
4	3月15日	放送開始	6期	6期	6期	6期	6期	6期
5	3月22日	放送開始	7期	7期	7期	7期	7期	7期
6	3月29日	放送開始	8期	8期	8期	8期	8期	8期
7	4月5日	放送開始	9期	9期	9期	9期	9期	9期
8	4月12日	放送開始	10期	10期	10期	10期	10期	10期
9	4月19日	放送開始	11期	11期	11期	11期	11期	11期
10	4月26日	放送開始	12期	12期	12期	12期	12期	12期
11	5月3日	放送開始	13期	13期	13期	13期	13期	13期
12	5月10日	放送開始	14期	14期	14期	14期	14期	14期
13	5月17日	放送開始	15期	15期	15期	15期	15期	15期
14	5月24日	放送開始	16期	16期	16期	16期	16期	16期
15	5月31日	放送開始	17期	17期	17期	17期	17期	17期
16	6月7日	放送開始	18期	18期	18期	18期	18期	18期
17	6月14日	放送開始	19期	19期	19期	19期	19期	19期
18	6月21日	放送開始	20期	20期	20期	20期	20期	20期
19	6月28日	放送開始	21期	21期	21期	21期	21期	21期
20	7月5日	放送開始	22期	22期	22期	22期	22期	22期
21	7月12日	放送開始	23期	23期	23期	23期	23期	23期
22	7月19日	放送開始	24期	24期	24期	24期	24期	24期
23	7月26日	放送開始	25期	25期	25期	25期	25期	25期
24	8月2日	放送開始	26期	26期	26期	26期	26期	26期
25	8月9日	放送開始	27期	27期	27期	27期	27期	27期
26	8月16日	放送開始	28期	28期	28期	28期	28期	28期
27	8月23日	放送開始	29期	29期	29期	29期	29期	29期
28	8月30日	放送開始	30期	30期	30期	30期	30期	30期
29	9月6日	放送開始	31期	31期	31期	31期	31期	31期
30	9月13日	放送開始	32期	32期	32期	32期	32期	32期
31	9月20日	放送開始	33期	33期	33期	33期	33期	33期
32	9月27日	放送開始	34期	34期	34期	34期	34期	34期
33	10月4日	放送開始	35期	35期	35期	35期	35期	35期
34	10月11日	放送開始	36期	36期	36期	36期	36期	36期
35	10月18日	放送開始	37期	37期	37期	37期	37期	37期
36	10月25日	放送開始	38期	38期	38期	38期	38期	38期
37	11月1日	放送開始	39期	39期	39期	39期	39期	39期
38	11月8日	放送開始	40期	40期	40期	40期	40期	40期
39	11月15日	放送開始	41期	41期	41期	41期	41期	41期
40	11月22日	放送開始	42期	42期	42期	42期	42期	42期
41	11月29日	放送開始	43期	43期	43期	43期	43期	43期
42	12月6日	放送開始	44期	44期	44期	44期	44期	44期
43	12月13日	放送開始	45期	45期	45期	45期	45期	45期
44	12月20日	放送開始	46期	46期	46期	46期	46期	46期
45	12月27日	放送開始	47期	47期	47期	47期	47期	47期
46	1993年1月3日	放送開始	48期	48期	48期	48期	48期	48期
47	1月10日	放送開始	49期	49期	49期	49期	49期	49期
48	1月17日	放送開始	50期	50期	50期	50期	50期	50期
49	1月24日	放送開始	51期	51期	51期	51期	51期	51期
50	1月31日	放送開始	52期	52期	52期	52期	52期	52期

## CHARACTERS VOICE (声優リスト)

ロキウ	相羽たかや	テ・カマンブレート	森川智之	ベガス	バウル・タ	真田雅男	コタード	テ・カマン・アックス	鳥巻希
アナル			松本泰典	バルサ・タ		堀内賢雄	モロトフ	テ・カマン・アックス	小杉十利夫
アキ			林道義	コル・ヘン・タ		大島直史	フォン・リー	テ・カマン・アックス	楠雄三
ミリー			横山幸雄	ハナート	オトウール	津田英子	相羽ケンコ	テ・カマン・アックス	若原雅夫
レヒン			中野浩	フリン・タ	テ・カマン・タカ	水田幸子			
フリーマン			鈴置洋孝	相羽ケンコ	テ・カマン・タカ	子安武人	ナレーション		鈴置洋孝

# 連合地球暦192年

連合宇宙暦192年(西暦2300年)人類が宇宙開発に乗り出すために作った、地球を囲うオービタルリングシステム。

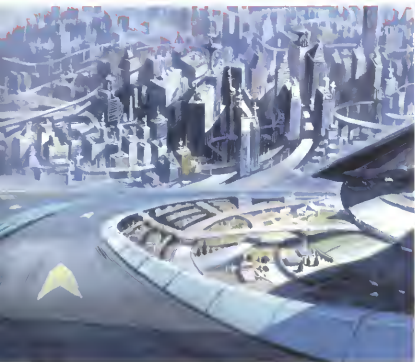


オービタルリングと地上を結ぶ送電線。よる環状道の軌道エレベーターがあるオービタルシステムポート。日本建造されたエレベーターはオービタルパイプとも呼ばれ、海上の人工島とオービタルリングを結んでいる。

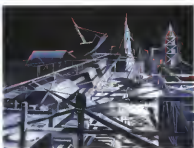
人類が宇宙に乗り出すために、地球と宇宙の架け橋として地上約300km上空に建造したオービタルリングシステム。地球の赤道上空を巡回する環状型静止衛星で、大型スペースポートを始め、新たな居住空間としての機能を有している。エネルギーの供給は、4箇所に配置されたジェネレーターによって供給され、各部には宇宙船建造ブロック、工業フ

ブロック、研究ブロック、商業ブロックなどのセクションを持ち、宇宙軍司令部までもが存在する国家並みの規模の施設となっている。地上からは、各地に点在する軌道エレベーターを使用して行き来がなされ、宇宙から侵入する物に対しての防御機構も持ち、リング全体にレーザー網が装備されている。

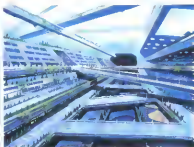
地球と宇宙をつなぐオービタルリングシステム



連合地球艦192年の地上の都市。様々な発展を遂げ、巨大な建築物が聳立する。

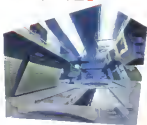


オービタルリンクの表面。ジョアB2のデブリ回収装置。第7話でデブリ・カマンダカーとの死闘の場となった。



オービタルリンク内の居住施設。

## メカニック室



ワキアース局やメカニクスの整備室などを行う

## 集中治療室



基地施設内には、医療や研究のための治療室などもある



地球連合の組織下にある宇宙開発機関。各調査や探査、研究などを主任務としているらしい。

その主要メンバーの中には、特殊チーム「スペースナイツ」要員も内密に配置されており、非常時に特別呼集かけられる。

アメリカのグランドキャニオンの渓谷に設置された基地も、「スペースナイツ」稼働開始とともに、外宇宙開発機構本部からスペースナイツ基地として認知されている。

施設内には、地球より離発着出来る宇宙船「ブルーアース号」を収蔵しており、敷地内には同機を宇宙へ射出するための巨大なカタパルト（かつては超電導カタパルトとして、シャトルに使用されていた。）も有している。

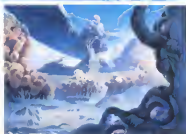


# ラダム

突如、来襲した侵略者ラダムは、オービタルリングシステムに寄生してしまった。



無数のラダム船がオービタルリングを襲撃してきた。



地球に落下したラダム船が結晶化して地球を覆う



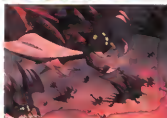
跡の残し取り去ったラダムの姿



ラダム船の一部は、地上で結晶化し、ラダムそのものの花弁のようなものから、地球環境を変化させていく。



ラダム船の結晶



ラダム船は様々なタイプが存在し、4本足の昆虫のような姿をしたものから、飛行型、水中型など多岐にわたる。



謎の侵略者・ラダム  
連合地球軍1922年、オービタルリングが謎の生命体「ラダム」に襲撃され、防衛隊の奮戦で占拠されてしまった。オービタルリング内に侵入したラダム船は、内部の人類を殲滅すると、エネルギー施設からエネルギーを吸収。コントロールシステムを掌握すると、オービタルリングの防衛用レーザー砲を使って、地上を攻撃しはじめ、地球を荒廃へと導く。人類は、持てる力で抵抗したが効果はなく、地上も落下してきたラダム船によって次々に占領されていった。

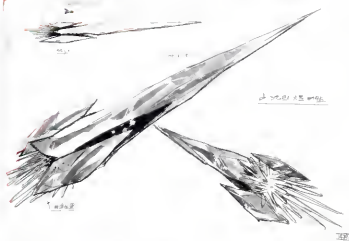
謎の侵略者・ラダム

## ラダム獣 色指定



## ラダム 準備稿

未知の生命体であるラダム獣たちの準備画稿。劇中登場のものとは異なるデザインが目新しい。



## >> ラダム 大型獣種

完成段階のものよりシャープなクリスタル状の軀体が美しい。

## >> ラダム獣 ラフ

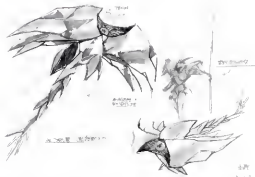


4本足に飛び出した踵部など、決定稿のデザインのフォーマットはこの時点でイメージされていた。



## >> ラダムの植物

地上を占拠するラダム獣のイメージと惹かれる。



## >> ラダム 小型移動メカ

ラダム制ティカマンが移動に使用する生物的特徴を持つメカ。純粋なメカなのか ラダム獣の一種なのかは不明。

## >> ラダム獣 ラフ



## >> ラダム獣 ラフ

独自のディテールを持つデザイン。変形パターンが興味深い。



ラダム獣のイメージラフ画。地上タイプと飛行タイプだろうか。



# TEKKAMAN BLADE

## テッカマンブレード

身長 2・32m 体重 81kg

どこからともなく現れ、オービタルリングのラダム軍を倒していった白いデノカマン。ラダムと名乗るラダム軍デノカマンとの差別の果、地球へ落下、人類の味方として、ラダムと戦い続けること。



宇宙空間はもとより、大気圏内でも、背部のバーニアの出力で自由に飛び回ることが出来る。



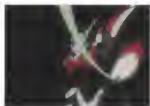
両腕のスリット部分より光の粒子によって合成される特殊の武器「2本を合わせれば槍として使用でき、先端は飛び出し、V字型カッターとなる。

### >> テックランサー



### >> テックワイヤー

フルード先端から伸びる鞭状のワイヤー。打撃やランスの回収に使う。



### >> テックシールド

後ろ腰部に装備されている盾。敵に弾撃可能。



### >> クリスタル

デノカマンになるための変身アイテム。「デ・クセ・ター」の掛け声で反応し、クリスタルフィールドを形成し、その中で変身する者の肉体を変化させ、デノカマンを誕生させる。

### >> テッカマンブレードの活動時間



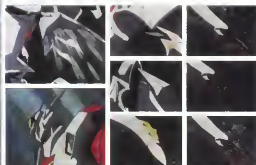
約30分間しか行動を1秒でも過ぎくしまつてデノカマンの精神支配を受け、変身者は意志を失い暴走化してしまふ。

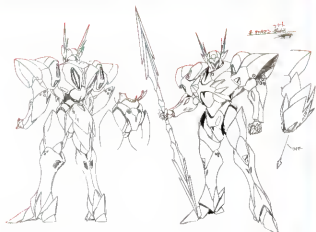


**>>> ボルテッカ**  
 デュカマント・レート最大の強敵。両腕の鎧印を破壊させ制御される反動装置。反動装置を素粒子ビーム化して放つ強力な兵器



**>>> クラッシュイントルード**  
 細身のフィン突起部分を関節。各部のハニヤを全開して、高機動形態に変形。その超高速を利用した全集中で行う体当たり攻撃



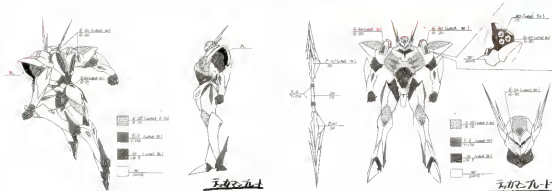


テッカマンブレードのフロントビューとリアビュー 腰部のテックユニット取り外し時の設定



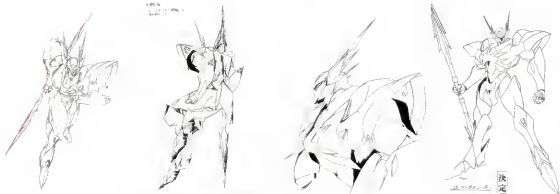
テッカマンブレードの彩色設定 胸部や大腿部付け根など 草体もま出し部は黒でまもられている。

テッカマンブレード色指定



作画コーディネーターによってクリンアップされたデザイン画。全体的に線が整えられ 参考用のポーシングなどが描かれている。

テッカマンブレード キャララフ



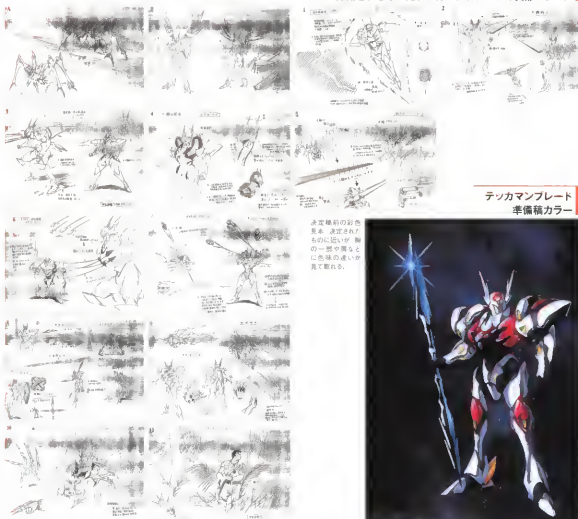


ほぼ決定稿の美稿。鎧の羽飾りのような突起が複雑なデザインラインを生んでいる。

## テッカマンブレード準備稿



## 採用されなかったテッカマンブレードの変形パターン

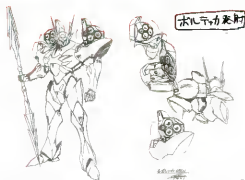


## テッカマンブレード 準備稿カラー

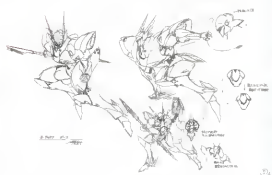
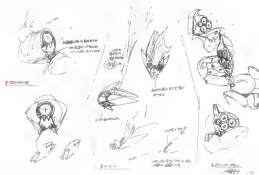
決定稿前の彩色  
提案。決定され  
ものに近いが、脚  
の一部や肩など  
に色味の違いが  
見られる。



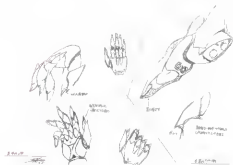
最終的には採用されるカード・テクマンブレードの武器などのバリエーション。テクマン自体の変形も考えられていたようだ。



10



11

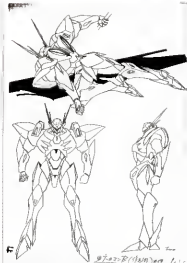
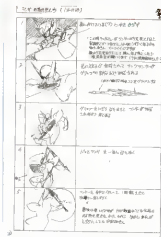


8

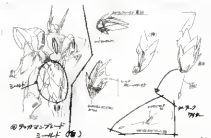
12



## テックランサー取り出し方 コンテ



## >>> テックランサー

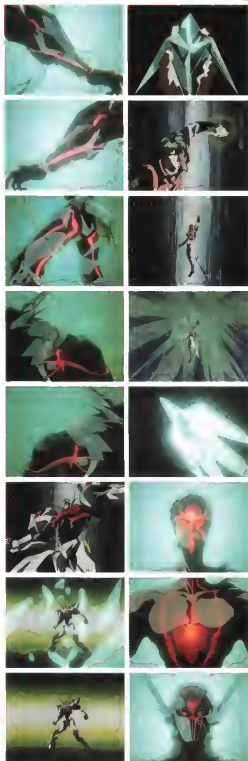


テッカマンブレードの亜式機「テックランサー」の  
出現シーンの絵コンテとV字型カッターのキミッ  
クの説明。

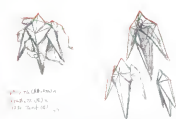
各面稿には、デザイナーの様々な指示  
が書き込まれた。作画部室にその複雑  
なディテールを詳細に伝えている。



BLADE TECSET



テック



テックシステム  
の構造と機能

ラダムの開発した強力な戦闘体を生み出すシステムで、素体（テノカマン用）にフォーノットした体と、システムホノクスであるクリスタルを使用して人体を外骨格構造化。体内のテクスニウムとシステムホノクスから供給されるディセイドを化すことで頑強な外殻を形成。光と物質変換機能を持つシステムによって、アー

ラダム樹によって生み出される素体テッカマン



テノカマンとなる素体は、ラダム樹によって生み出される。人体を取込み内部でフォーノット化している。しかし、全てが素体化出来るわけではなく、中には体質や健康状態によって排出されてしまう個体もある。

素体テッカマン

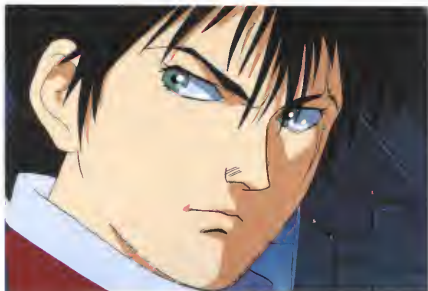


テッカマンプレートのアーマー部位の説明。可動時の注意などが描かれている。

# D-BOY

## Dボウイ

連合地球暦174年5月15日生まれ、18歳、身長177cm、体重66kg、血液型AB。テクノマンブレイドに突如する青年。自ら記憶喪失を装い過去を話す事を避けている。ノアルが名付けた「D（デンジャラス）ボウイ」が仲間たちの通称となった。本名は相羽タカヤ。



Dボウイ設定画



# AKI

アキ

運命地獄 173年6月15日生まれ。19歳。身長160cm、体重45kg。血液型A型。スペースナイツの戦闘オペレーターを担当。ブルーアリス号搭乗時にはナグーターを操る。行動力のある少女だが、料理が苦手なフーフンに關心がないのが残念。



決定稿とは異なる  
彩色見本



決定



12



19



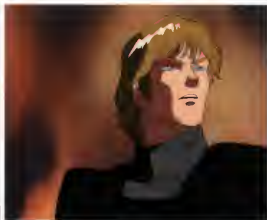
17



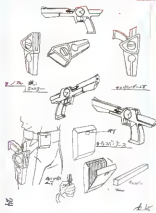
# NOAL

## ノアル

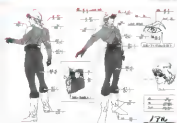
運命地球暦172年10月20日生まれ。20歳。身長182cm、体重76kg。血液型B。スペースナイツでは戦闘リーダーを務め、ブルーアース号の機長、ガンナ1を担う。ナンパな性格に見える一面もあるが、連合防衛軍のエリート、東条ベルス家の長男で士官候補生の過去を持つが、転落しさを嫌い外宇宙開発機構へ入った。



ノアルが携行する銃



決定



決定



決定



決定

# HONDA

本田

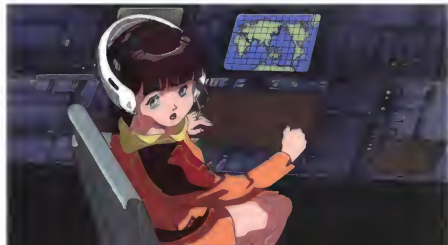
適合地球暦150年5月5日生まれ 42歳 身長172cm 体重85kg 血液型B スペースサインのメカニック担当 職人気質で 機械に対する愛着は強い。状況判断に優れ 落ち着いた言動で周囲の信頼も厚い 脱作りの癖を持つ。



# MILLEE

ミリー

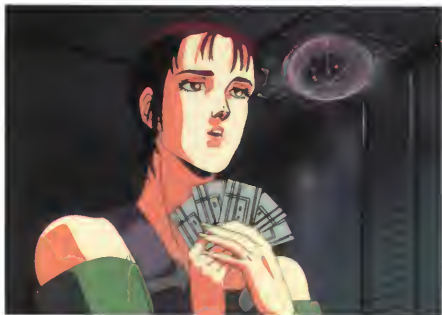
適合地球暦176年2月14日生まれ 16歳 身長152cm 体重40kg 血液型A スペースサインの通信オペレーター データの解析や開発に長け フリーマンの助手的な作業もこなす 一方、メンバーからはマスコットの存在として可愛がられている。



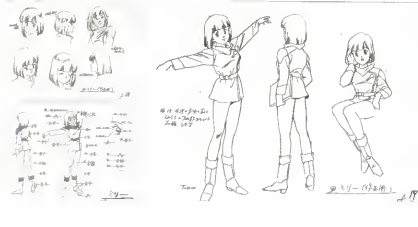
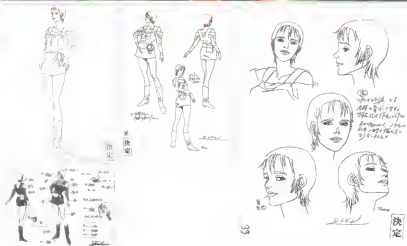
# LEVIN

コナン

連合地球艦171年8月29日生まれ、21歳、身長178cm、体重61kg、血型型A。スペースナイフのエンジニア。ニューハーフであることからかわれるが、子供の頃から自分らしさを決して曲げることはない意思の強さがある。メカに対して独自の美意識を持っており、テクノカマンブレードの美しさを愛する。



少女顔とは異なる  
彩色見本



# FREEMAN

## フリーマン

連合地球船157年11月23日生まれ。35歳、身長198cm、体重83kg。血液型O。フルネームは、ハイリッヒ・フォン・フリーマン。外宇宙開発機構の立役者で、スぺースナイツの指揮官。常に沈黙冷静を誇るが、冷血漢に思われがちだが、温厚に厚い一面もある。ラダムの特つ未知の技術に対しても、徹底的な分析を行い、解明を果たしている。



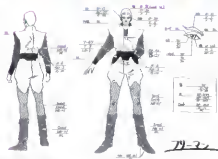
決定稿とは異なる  
彩色見本



決定



決定



フリーマン



決定

決定



# STORY of **TEKKAMAN BLADE**



『宇宙の騎士テッカマンブレード』の全49話のストーリーを、設定画等の資料と共に放送順に構成。各話のキャラクターやメカニックたちを登場に合わせ、現存する図版を可能な限り使用して一挙紹介。心揺さぶるハードSFストーリーの世界観を見る。

# 「天駆ける超人」

## 第1話



じきに奴らの本体が地球に降りて来る…。



連合地球暦192年。地球は、宇宙からの謎の生命体ラダムの侵襲を受け、滅亡の危機に瀕していた。ある日、ラダム艦が地表に移住していった地球外植物の調査を行っていた外宇宙開発機構のノアルとアキは、大宇宙外から落下してきた一筋の光を観測。当初は隕石の落下とも思われたが、墜落現場のクレイターの中から、重傷を負った正体不明の青年を保護する。実は、記憶を失い名前すら忘れたと言う青年は、ラダムに占拠された軌道衛星オービタルリングで、たった一人の戦いを展開していた戦士であったのだ。

開発機構の医療ルームで目覚めた青年は、宇宙に戻るためのスペースシップを貸してくれと頼む。その時、施設内に張り響く警報。ラダムの地球降下作戦が始まったのだ。

オービトラリアで繰り広げられる人類VSエイリアンの戦い。しかし地球の連合防衛軍勢力の敵う相手ではなかった。

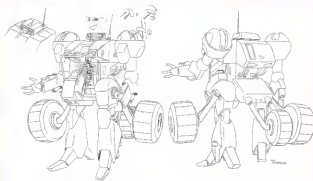
ノアルによって「Dボウイ（テンジャラス・ボウイ）」と名付けられた青年は、地球に唯一残されていた非武装の宇宙船ブルーアリス号を地下格納庫から奪い、彼を止めるために乗り込んだノアルとアキと共に、オービタルリングに向かって飛進していく。

ブルーアリス号の接近を察知したオービタルリングからの攻撃が始まった。Dボウイは「デックセッター」の掛け声とともに、未知の装甲をまとったデッカマンプレードに変身。宇宙空間に飛び出し、く、その姿に、ノアルとアキは愕然とするしかなかった。



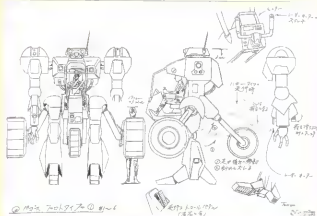
### ペガス・プロトタイプ

アキが使用していたパワーローダータイプの作業用ロボット。人工知能等は搭載されていない様子で、胸のディスプレイ内で確認する。



② 100% フォト 95% 以上

決定

[illegible]

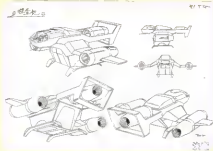
4573 1-2-4-107a



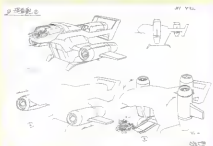
決定

### 探査艇

外宇宙開発機構のアキとノアルが地上調査で使用していた探査船。ティルトジェットで垂直着陸が可能でVTOL機「ベカス・プロトタイプ」を搭載している。



4/17/2014



207

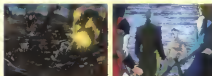


2000

ジョーンズ連合防衛軍基地



決定





# TEKKAMAN DAGGER

## テッカマンダガー

テッカマンブレードがオーヒタルリング上で戦っていたラダム側テッカマン。テックランスを弓状に変化させて光の矢を放つことができる。

設定画

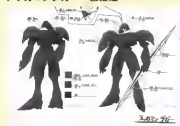


決定稿とは異なる彩色見本。

テッカマンダガー 準備稿



テッカマンダガー 色指定







# BLUE EARTH

## ブルーアース号

全長32.1m、全幅27.3m、最高速度マッハ2.05/49000ft。外宇宙開発機構が温存していた地球に残った最後の宇宙船。宇宙へは巨大な滑走路を3段式の射出用ブースターを使って発進する。スペースナイツ結成後は、その専用機として使用され、機首にレーザー砲が追加装備された。搭乗員数3名。

### 劇中で未登場の分離形態



1/100 全長 10.0m



1/100 全長 10.0m

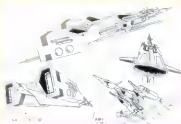
ブルーアース号はコクピットのある機首とコンテナである後部で構成されている。コンテナ内にはベカスを収納している。

### 発進ブースター設定画

ブルーアース号を大気圏外へ発進させるためのブースター。滑走中にカタパルトの2段目を切り離し、発進後に最後のブースターを切り離す。



1/100



1/100

### ブルーアース号本体設定画

ブルーアース号本体、本機は、ロケットブースターではなく、超電導カタパルトによって射出されていた。ラダム侵攻で電力が不足したことから、発進の際にブースターが必要となったのだ。



1/100



1/100

### 準備稿デザイン バリエーション



# 「孤独の戦士」

第2話



人類の宇宙進出のプラットフォームとなるはずの巨大な軌道衛星オービタルリングはラダムによつて破壊され、地球侵略の前進基地となっていた。Dボウイが変身したテッカマンブレードは、次々に半生生命体を撃破していく。外宇宙開発機構のチーフ、フリーマンは、Dボウイを連れて必ず帰還することをノアルとテキに厳命する。

ラダムの攻撃で機体制御を失い、スペースポートに墜落するブルーアース号。そこに再び人間の姿となったDボウイが戻ってきた。Dボウイに事情を聴くため、ノアルが詰め寄った。

だが、そんなノアルの質問を無視し、Dボウイはオービタルリングを調べるため、内部へと侵入していく。

そこへ彼等が見た物は、オービタルリングが生み出す膨大なソーラーエネルギーを使つて成長するラダムの卵であった。この衛星基地はラダムの巣になっていた。

その時、危険を察知するDボウイ。突然、光線を放つて爆発した卵の中から、もう一人の悪人テッカマンダガーが現れた。ノアルとテキをブルーアース号に戻し、ダガーと対峙したDボウイはブレードに変身し、宇宙空間で決闘戦を開始した。不調で動けないブルーアース号を、自らのパワーで発達させたブレードは、ダガーを超兵器ポルテックで撃退するのだった。

ブルーアース号は、エネルギーを失つて動けなくなったラレードを回収し、地球へと帰還するのだった。

## ラダム獣の卵 設定画



決定

オービタルリングのエネルギーを吸収するラダムの卵。ダガーはその中に身を潜めていた。



## ブルーアース号の宇宙食

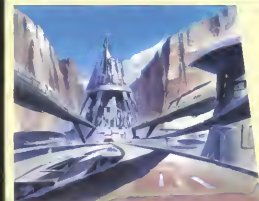
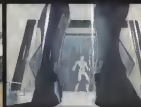
デコボコによって腹をすかせたDボウイが食べていた機内食は、グレートの上にはトイライワード族の資料が載せられていた。



決定

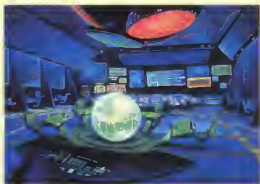
# ブレードを待ち構えるテッカマンダガー。

オービタルリング内で、ロボウイを持ち構えるダガーは、再びブレードを追い詰めるが、ブレードの放ったボルテッカを食らって激退。



## 連合防衛軍基地

オーストラリアのショーンズ基地を始め、世界の各所に建設されていると知られる。本誌には、コルベット准将が駐留し、全軍の指揮を執っている。演習には基地防衛用の2連レーザー砲が多数配備されている。



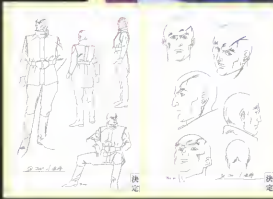
## テッカマンブレード最大の武器・ボルテッカ。

その威力は絶大だが、ブレード自身のエネルギーを著しく消耗させる。



## コルベット准将

連合防衛軍の地力を握る。フリーツとは旧知の仲だが、その考え方の違いから対戦心を燃やす。遊楽心や好奇心が強い。



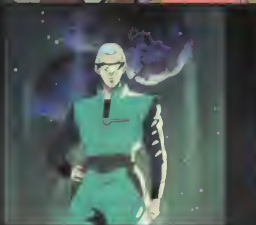
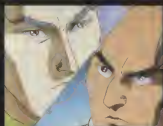
決定

決定

決定

# 「防衛軍の野望」

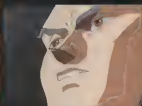
第3話



だがフリーマンは、Dボウイは兵器ではない、これを拒否する。コルベットは開発機構基地を武力で脅迫するが、その時、地球連合の大統領から通信が入った。外宇宙開発機構の特殊チーム「スペースナイツ」を、軍とは独立した遊軍として再編する命令を下したのだ。Dボウイとスペースナイツは、落下するオービタルリングを破壊するため、出撃していくのだった。

の戦いをモニターしていた連合防衛軍のタカ派コルベット准将は、外宇宙開発機構にDボウイの引き渡しを要求してきた。オービタルリングのパーツが、防衛軍の兵器工場に落下しようとしているため、遊撃にテッカマンの力を使おうというのだ。

傳達したDボウイに、フリーマンは対ラダムのための協力を要請する。Dボウイの体を調べれば、何か抵抗策が見つかるはずなのだ。その申し出を受け入れるDボウイだが、彼の体は腫れに埋め込まれたクリスタル状の物体以外は、何ら普通の人間と変わりがなかった。調査を終えたフリーマンは、Dボウイにラダムの情報とテッカマンの秘密を教えてくれることに願う。しかしDボウイ自身、唯一、分かっているのは、ラダムに抵抗する力を持つのは、テッカマンのみということだけだった。協力を断え、立ち去ろうとするDボウイに、フリーマンは、ラダムと戦いたいのなら地球で唯一、宇宙船を持つ外宇宙開発機構と一戦にいくはうが提案だと提案する。





## ブカマンワールド対決図

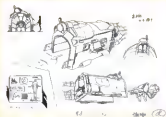


スペースナイツメンバーの人物対比図。これを見ると、意外にもフリーマンの背が一番高いことがわかる。

## スペースナイツ結成!

外宇宙開発機構の一部の職員は、秘密裏にスペースナイツ要員として選ばれており、そのことを他言してはならず、非常招集によって、お互いがメンバーを知ることになる。

## Dボウイを調べたCTスキャン



## マーガン

スペースナイツ基地で通信などを担当している女性。

## コルベット専用VTOLヘリ



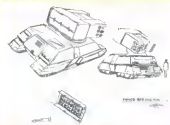
## ブラウンベレー部隊 隊員



## ピラミッド観測所



## 地球軍装甲車ミサイルランチャー(ラフ)



## 地球軍・装甲車 対空砲(ラフ)



## 地球軍戦車(ラフ)



# 「理由なき敵前逃亡」

第4話



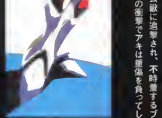
スペースナイツの一員となったDボウイだったが、誰とも心を通わせようとせず、態度は頑ななままだった。アキはDボウイとラダム樹の調査に赴き、地球の苦境やラダムの侵襲の様子を語りながら、彼の心を開こうと努力する。しかしDボウイは「おまえたちに仲間はずりされる覚えはない」と突き放すのだった。

地表に着陸し、ラダム樹調査の最中、朽ち果てた人形を見つけ取らぬアキ。Dボウイは彼女の故郷がラダム樹の森に飲み込まれたことを知る。彼女にとって調査は、ラダムとの戦いなのだ。Dボウイは、そんなアキに協力する気になるのだった。

そんな時、成層圏で謎の飛行物体が感知され、スペースナイツにその調査の命令が下った。ただしフリーマンは「成層圏の調査」に注意せよという、成層圏には狂暴な飛行ラダム敵が生息しているのだ。

出動したブルーアース号に、予想通り飛行ラダム敵が接近した。出撃したDボウイは反目に、アキに向かって、彼が裏切った時のため、急速離脱の準備をせよように促すノアル。ノアルは、依然、Dボウイを監視しているのだ。

宇宙空間で飛行ラダム敵と戦闘を開始するテッカマンブレッドは、高速で動く敵に苦戦しながらボルテックで迎撃。だが、そこでスペースナイツが見たものは、無数の飛行ラダム敵が群れる軍であった。エネルギー不足に陥ったブレッドは、戦闘を放棄しブルーアース号に帰投する。飛行ラダム敵に追撃され、不時着するブルーアース号。その衝撃でアキは重傷を負ってしまう。



## 「オレを殺せ」

第5話



スペースナイツに飛行ラダム戦の発生音。ラダムバルーン一の破壊命令が下る。この巢がある限り、地球に落下してくるラダム戦を迎撃することはままならない。もし作戦遂行に失敗すれば、スペースナイツは軍の管理下に入るといふ。

破壊作戦に備える基地内で、Dボウインノアルの対立は深まるばかりだった。出発前日の静けさの中、Dボウイは怪誕状態のアキに心から語りかけるのだった。寂しげに夜風にあだついているDボウイを助まじにやって来るミリー。死を覚悟したDボウイは、彼女に、自分が人間の心を持つテッカマンでいられる時間は30分だと悲痛な告白をする。タイムリミットを越えようとシステムが暴走し、地球に破壊をもたらす暴風になるのだという。もし戦闘が30分を越えたら、精神が支配される期間の無防備状態のときに、自分を殺してくれとノアルに伝えてほしいと囁むのだった。

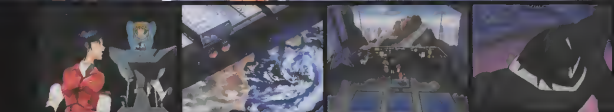
翌日、出撃したスペースナイツであったが、敵の数はあまりにも多い。ブレッドが捕らえられて身動きが取れなくなった時、ミリーから真相を聞いたノアルは、ブルーアース号で救援に向かい、共同戦線でラダムバルーン破壊に成功する。

しかし、すでに30分は越えてしまった。ブレッドが怒のテッカマンになったと思ったノアルだったが、プラスタの引き金を引くことはできない。ところが腕時計が狂っていたため、ブレッドは無事にDボウイとして帰還するのだった。アキも意識を回復させ、スペースナイツの友情と結束が固まってくる。





久しぶりだな、ブレード。



ブレードとの戦いで傷ついたテックマンダガーは、裏切り者Dボウイへの復讐を誓っていた。ある時、スペースナイツ基地に、オービタルリングの機體プラントから緊急信号が入った。熱道衛星内にまだ生を逃りがいたのか。現場に急行したブルーアース号はスペースポートから内部に侵入。Dボウイは生存者の捜索に向かった。しかし、そこで待っていたのはフリッツダガー。これはダガーの張った罠だったのだ。ブレードになるうとしたDボウイだったが、突如システムを無効にする干渉スベクトルに囚われ、テックセット不能に。その上、テックセットに必要なクリスタルも破壊してしまう。抵抗する術のないDボウイに、ダガーの導手が迫る。彼を助けに行こうとするアキを止めたノアルは、地球とDボウイを守るため、自分たちのできることを課せと諭すのだった。

機體プラント内でダガーに追われるDボウイは、絶体絶命の危機に陥っていた。だが、その時、ノアルはブルーアース号の体当たりで、衛星外部に設置されていた干渉スベクトル装置の破壊に成功する。ついにテックセットしたブレードは、ボルトテックでダガーを牽制し、窮地を脱出。ブルーアース号はブレードを回収し、大気圏に突入する。しかし、帰還しようとするブルーアース号の中で、ブレードのテックセットは解除され、クリスタルも粉々に砕け散ってしまうのだった。



# FRITZ

本名はフリッツ・フォン・ブラウンで、テッカマンダガーの正体。プレートに魂を宿し、執拗に攻撃を仕掛けてくる。その性格は、やや粘り強気である。Dボウイとの関係性は、はっきりと明かされていない。



決定

## テッカマンダガー設定画



## テッカマンダガーのクリスタル



プレートのホルテクカを受け、魂宿していたダガー、魂も滅し、いよいよプレートに倒すため行動を開始する。しかし、自らの戒めとして、師の魂は必ず守ることになった。

## ブレートの破損したクリスタル



## テッカマンダガーのテックセッター



## 干渉スペクトル



## 農場プラント全景



## 農場プラント出入口



## 第6スペースポート



## 巨大干渉スペクトル発生装置



## エアロック入口



## エアロック内部



## 第6スペースポート内部



## 探査機着陸装置



ノアル、ありがとう。



ブレイドへのテックセットが不可能とみたラダムは、地球機動作戦を激化させた。現在の地球の戦力ではラダムに勝つことはできず、次第に劣勢になっていく。

連合防衛軍のコールベット准将は、スペースナイツに再びテックカマンの引き渡しを要求する。しかし、それを拒否したフリーマンには帰隊があった。

戦う術を失い、ふてくされたように基地を去ろうとするDボウイ。だがアギはそれを諫め、スペースナイツの仲間が不眠不休で、もう一度、Dボウイがブレイドになるための新システムを開発していることを告げるのだった。

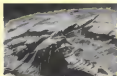
基地にダガーからブレイドの引き渡し要求が入った。もし引き渡しを拒めば、世界中の主要都市を攻撃する。という。Dボウイは商業寸前の小型ロケットに乗り、たった一人でオービタルリングに向かった。彼はプラスチック導弾を使って、ダガーと相打ちになる覚悟なのだ。

その頃、スペースナイツ基地では、レビンが新たなテックセットシステムを開発する新素材の開発に成功していた。ブルーアース号は、システムを稼働した機動兵ペガスを積み込み、Dボウイ救援に急行する。

オービタルリング上で、単身ダガーと戦い、追い詰められていたDボウイ。自爆寸前というところで、駆け付けブルーアース号に助けられる。Dボウイは柄にもなくノアルにれを告げ、新たな仲間ペガスの内部で、ブレイドへのテックセットを放行。帰隊とするダガーをホルテッカで討ち取るのだった。

**TEKKAMAN OMEGA**  
テッカマンオメガ

ラダム母艦に留まり、ラダム側テッカマンたちに指示を与えるボスの存在。全身をマントで覆う謎多き存在。ブレードのこともよく知る関係にある模様。



## ラダム基地

地球人類に「その存在を知られることなく侵略を開始したラダムの拠点。宇宙船の形状をしている。中にはオメガのいる中核区画の他、ラダム軍の収容施設などがある。



デッカマンオメガ設定画



# PEGAS

## ペガス

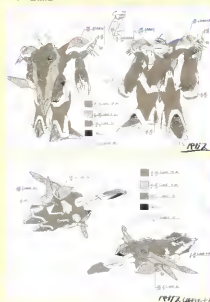
全高2・7メートル、体重6・5トン、胴部に3連レーザーランチャーを備え、胸部には機関も装備されている。クリスタルが破壊して、テノクセットでなくなったりロワイのためた急遽開発されたサギートロポットで、外部からの干渉スベクルをも遮断し、その体内でクリスタルフィールドを形成。ロワイをテノカンプレードへと変換させることができる。自律型AIを備えており、人間の会話も可能。



ペガス飛行形態

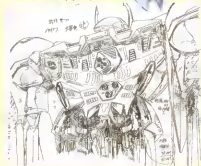


ペガス色指定



テノクセットの型 胸部全面がハッチのように開き、ロワイを収容する。

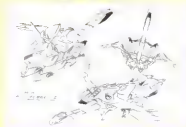
ハッチオープン時(ラフ)



# ヘガス設定画



# ヘガス飛行形態設定画



# ヘガス準備稿



# ヘガスによるテックセット

テクニカマンブレッドへのテックセットは、クリスタルを使用した時と同様「テックセッター」の掛け声で開始される。



合体するように収容されるDキウイ



Dキウイが「テクニカマン」になる



ハチが閉じる。



ベガスの胸のクリスタルが反応し。



ヘカメ 発進口へ移動。



ベガスもそれに呼応し「ラーサ」の返答。



ハチ固定され 発進準備



Dキウイに奇面を向ける



フルーアース号から押下されるヘカス



奇面ハッチオー



ヘカスの顔面が開き



内部メカが動く



テクニカマンブレッドが飛び出す。



駆け込みDキウイ



テックセット完了



ベガスの内部へ飛び込む



# 「謎の従軍記者」 第8話

記者さ、  
ただの足し算が得意のね。



地球に要ったバルザックは、コルベット准将に、ブレッドに関する秘密情報を報告するのであった。



テッカマンの活躍でラダム隊の降下作戦は減ったが、オビタルリングからのレーザー光線による攻撃が回数を増し、民間人に与える被害は莫大なものがあった。その責任を負わされる連合防衛軍は、スペースナイツにレーザー砲破壊の協力を要請するのりをして、再びテッカマンの秘密を手に入れるため、従軍記者バルザック・アシモフを派遣する。彼はコルベット准将のスパイであった。

軍からの要請を受け、レーザー砲破壊作戦の立案に入ったスペースナイツ。レーザー制御コンピュータのプログラムを書き換え、一気に作動不能にしようというのだ。だがコンピュータには、攻撃を受け本体と端末の連絡が途絶えた途端、無差別攻撃を開始する防衛システムが組み込まれているのが不安材料であった。

この作戦にはバルザックも同行するという。出動したブルーアリス号の機内で、無神経な取材を繰り返して、敵船までDボウイの秘密を探ろうとするバルザック。オビタルリングに接近し、出撃したブレッドは、ペガスと連携でラダム隊を撃破する。衛星内に侵入したノアル一行はコンピュータを操作したが、間一髪ところで防衛システムが作動してしまった。だがその時、システムのプログラム書き換えに成功したのはバルザックであった。

## BALZAC ASIMOV

## バルザック・アシモフ

連合地球軍168年5月21日生まれ、25歳。身長183・5cm、体重75kg、血液型AB。連合防衛軍少佐で、幼少時にスラムで窮乏を繰り返していたところを王に拾われた過去を持つ。そのため、上層志向が人々を驚かし、自らの心情を悟られないよう、飄々としている。当初は、デカマンに関する情報を入手するため、スペースナイツへ潜伏していたが、軍機漏洩、改心してスペースナイツの一員となる。



バルザック設定画



最初は従軍記者の志願で、軍のために積極的にデッカマンの潜入調査を行っている。

連合防衛軍降参後は、放浪の末に人間味を取り戻してスペースナイツと行動をともにすることになる。



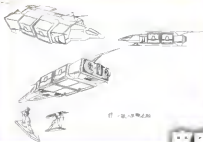
バルザック色指定



# 「救出! 木星クルー」

第9話

一般小型輸送船



付・一般小型輸送船



皮肉だな、運命というものは…

ラダムの侵略が開始される以前、木星開発基地に集結した宇宙衛隊輸送船団が、地球の危機を知り、大量の資源を積んで緊急にも帰還しようとしていた。スペースナイツに、船団の護衛任務が下った。乗組員の人命よりも、資源の確保が最優先という非情な任務であった。船団を率いるカール博士は地球環境保全のため、防衛軍の創設にも反対した人物であり、フリーマン司令官の親友だった。輸送船と合流するブルアース号。鉱石とエネルギープラントを積み込んだ11隻の船は、それぞれ1名の乗組員が乗船する自動化船団であった。船団の最終指定地点は、パラダイス星の入り江。万が一、船団が撃墜されても資源回収が容易になる場所である。

船団に大量のラダム敵が襲いかかっていた。博士は、自分の船に軍の最重要兵器が積んであるとの偽情報を通じ、ラダムをおびき寄せた。博士は船団を脱走して固となったラダム敵の攻撃を一身に受ける。救出に行つたブレイドは、重傷を負つた博士に船を大急ぎに突入させるよう懇願される。博士は、船に積み込んだ爆発性のエネルギーを爆発させてラダム敵に打撃を与え、他の船団を救う計画だったのだ。博士はブレイドに形見のプレスレットを託し、船はラダム敵とともに大爆発する。

船団はパラダイス星に暴走、ブレイドも無事に帰還する。船団の生存者は2名。資源も半数以上が回収された。任務は大成功だという回収部隊の指揮官を、Dボウイは殴り倒すのだった。

# 「戦火に響く子守唄」

第10話



軍曹、あんたが教えてくれた戦場の掟、忘れないぜ。

オービタルリングへと繋がる軌道エレベーター内部に潜入したヨロバ方面軍の特殊部隊が、ラダム敵との戦闘で孤立したものの情報もたらされた。部隊はリング内の高速宇宙船を奪回する作戦だったのである。スペースナイツに救出命令が下った。しかしDボウイは、毛嫌いする輩の尻尾かいたには反対だった。

救出に向かうたブルアース号だったが、ラダム敵の攻撃を受け、ブレイドを残して帰還する。エレベーター内部に侵入したブレイドは、特殊部隊のバーナード軍曹と合流。しかし軍曹は帰還しようとはせず、あくまで宇宙船奪取を遂行しようとしていた。対立する二人は放み比べで勝負し、結局、格闘軍に向かうことになってしまった。軍曹には他にも「やるべき事」があるというが……

ブレイドとベガスがラダム敵をひきつけている間に、特殊部隊は前進。格闘軍で宇宙船回収に成功する。軍曹は1年前に失敗した同じ作戦の生々残りで、死んだ特殊部隊の仲間たちと会いに来たのだ。その様子を眺めるブレイドに、軍曹は戦場の掟を語る。

まず生き残ること。生きて帰って仲間を助けること。

その時、格闘軍にラダム敵が襲いかかった。次々に発進していく宇宙船がブレイドの援護でオービタルリング難航に成功する。そしてブレイドは、軍曹の無とともに大急ぎに突入する。

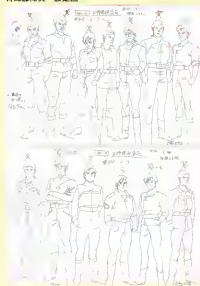
月夜に軍曹に教わった「ダニーボーイ」を叫ぶベガス。戦場に生きる兵士たちの気持ちで理解できた気がするDボウイだった。



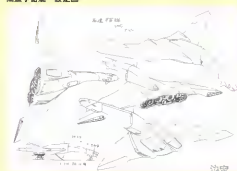
# BERNARD O'TOOLE バーナード・オトゥール

かつての連合宇宙軍第四師団長。特選の右腕を失った連合軍最高顧問。印を上げの戦士で、敵軍への攻撃を躊躇なく行う。その性格から、友軍側から「好き嫌いはナリ」なキャラクター。特選の故に「(バーナード)」と呼ばれていた。

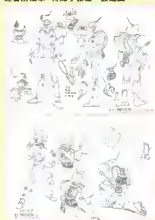
特殊部隊員 設定画



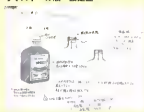
高速宇宙艇 設定画



連合防衛軍・特殊宇宙艇 設定画



ウィスキーの瓶 設定画



バーナード設定画



# 「Dボウイファイル」

第11話



地球の救世主となったテッカマンブレード、Dボウイの極秘ファイルが今明かされる。

地球を取り囲むように建設され、地表と繋がったオービタルリング。この衛星都市の完成で、商業、工業の中心は宇宙に移動し、地上の環境問題はなくなった。しかし、連合宇宙暦1922年、宇宙から謎の生命体ラダムの侵襲が開始され、地球の平和と繁栄は崩壊してしまふ。しかし、その時、地球に一人の青年が落下してくる。すべての記憶を失っていた青年は、Dボウイと名付けられた。彼は占拠されたオービタルリングで、ラダムと戦っていたテッカマンブレードだったのである。強靱な力を持ったDボウイは、外宇宙開発機構内に編成されたスペーススナイツのメンバーとなり、地球のために戦うことになった。

Dボウイは通常の人間と変わらない体を持っていた。しかし、「テックセッター」とパスワードを唱ぶと、彼の持っているクリスタルが光から物質を作り出し、テッカマンの装甲を形成。素体となったDボウイの体装を覆うのである。テックセッターシステムの稼働時間は30分。それを超えるとシステムが暴走を起し、Dボウイは精神を支配されてしまうのだという。

機動な戦闘の中、ラダム側にもテッカマンが存在することも判明。その戦いでクリスタルは破壊されるが、スペーススナイツは、テックセッターを可能にする機動兵ベガスを開発し、Dボウイは再び戦いに身を投じるのだった。

だが彼が、なぜラダムと戦い続けるのかは不明である。

# 「赤い戦慄エビル」

第12話

敵の新しいテッカマンがやって来たんだ...



高速宇宙艦を奪取した防衛軍の反乱作戦が始まった。

オービタルリングのエネルギー供給を断ち、ラダム軍に決定的なダメージを与えるため、4艦所のジェネレーター1の破壊作戦「オペレーション・サンセット」が立案される。作戦が成功すれば、成長のためのエネルギーがなくなり、ラダムの幼虫を育成できるはずだ。

攻撃第1陣の機動作戦に、スペーススナイツが投入されることになった。ジェネレーター破壊のために集められたのは予

備役、新兵を含む混成部隊・フォーカード隊である。機動にあたるキング機は起動エレベーター内を昇り、スペーススナイツのクイーン機は外部からラダムの本拠である「ワモノの星」を攻撃する。その機動に紛れ、4機の主艦を駆るフォーカード部隊がジェネレーターを破壊するのである。

ついに作戦が突如とされ、各部隊の機動が開始される。コードネーム「ジョーカー」と名付けられたブレードは、クモの奥に侵入してラダム軍と交戦。キン

グ隊も奮戦して、敵を十かたにひきつける。フォーカード部隊の機動時は、時間爆弾をセッターしたところでラダム軍に襲撃されるものの、作戦は功を奏してジェネレーター破壊に成功するのだった。だが、その時、勝利に沸く部隊の前に赤い閃光が走り抜ける。

Dボウイは閃光の正体につぎ、総員の退避を叫ぶが、時はすでに遅くフォーカード部隊は全滅。赤い閃光はラダム側の新たなテッカマンであった。



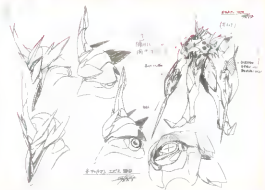
# TEKKAMAN EVIL

## テッカマンエビル

身長2.02m、体重90kg。テッカマンオメガ率いるラダム地球侵略隊の隊長格で、アックス、ノード、ランスのテッカマン3人を征する。必殺武器のPSY（サイ）キルテッカは、撃ち出した反物質をサイコパワーでコントロールし、確実に命中させることが可能。プレートのカムテッカを射し込めることも出来る。両腕のアーマーは手持ちソードになる。

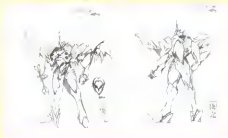


テッカマンエビル設定画



テッカマンエビル準備稿

テッカマンエビル色指定





木星の衛星イオからの輸送船団の第2陣が到達した。ラダムへの反撃、破壊された都市の復興に必要な資源も、次々に獲得していく地球連合軍。その手柄は、連合防衛軍のゴルフット准将のものになっていた。世の中が反抗作戦成功の喜びに沸く中で、スペースネイツも非常待機態勢を解除し、久々の休息をとるようになった。だがその頃、謎の人物が地球の都市に侵入していたのである。

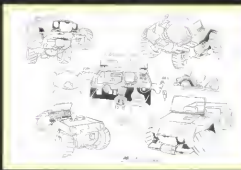
しかしDボウイは、基地でサンドバツグを相手に格闘するしかできない。本田は平和な時間を楽しめないDボウイを誘い、自衛で風を作りを楽しむのだった。

基地に舞ったアキやミリーたちは、街でDボウイを見たという。その言葉に愕然とするDボウイ。彼に似た謎の人物とは、真切り者の兄を始末するため、地上に降りたシンヤことテックマンエビルだった。

ラダム機の森林で、Dボウイとシンヤは運命に引かれ合うように再会を果たす。だが、シンヤには昔の面影はなかった。テックセツ



## そうは思わないかい、タカヤ兄さん？



4輪ハキ一 設定画

つかの間の休息をゆっくり過ごしていたDボウイが、弟・シンヤの襲撃を感じ、彼の元に向かう際に使用、防衛軍に配備された四輪駆動車



## AIBA SHINYA

## 相羽シンヤ

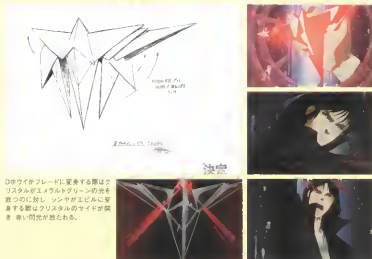
誕生日は昭和17年(1942年)10月15日生まれ。10歳、身長177cm、体重46kg、血液型A。相羽幸三の三男。テッカマンエビルとなり覚悟した後は、自身のコンプレックスの元凶となっている反子(反・D)ボウイを克服し、兄への苦しみや対峙心から、その進行態は常に逆襲を求めているものとなった。性格は冷静で、裏の顔でもあると云う。フレイト打倒の通員として利用される。



シンヤ 設定画



テッカマンエビル、クリスタル 設定画



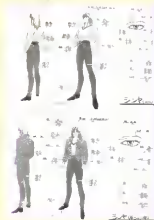
①ボウイがブレードに変身する際はクリスタルがエメラルドグリーンの光を放つ。シンヤがエビルに変身する際はクリスタルのサイドが開き、赤い閃光が放たれる。

シンヤ

シンヤのポーズ



シンヤ 色指定





ラダムを倒すため、  
オレは過去の何もかもを捨て去ったんだ。



アマリスの花 設定画



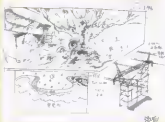
ブレードの弱点をつかんたエビル。しかし後には、ラダムを地獄するため、新たなエネルギーを手に入れるという使命があった。東の国の平和につかるスペースナイツであったが、Dボウイはエビルと戦ってから、また暗く閉じこもった性格に戻ってしまった。休養室で家族と面会する機嫌の姿を見て、自分の幼いころを思い出すDボウイ。だが、その記憶の花畑で融れる娘こそ、テツカマンエビルであった。心配して近づいてきたミリーを妹のミユキと見間違えるDボウイ。ミリーは、記憶がよみがえったのかと驚くが、Dボウイはラダムを倒すため、すべてを捨てたのだという……。スペースナイツは、ラダム前に襲撃されたクーパー発電所を救うために出動する。ラダムはオービタルリングの幼体を育てるため、エネルギー源の確保に走ったのだ。

テックセットして出撃したブレードは、迷電線に誘われるラダムを撃破していく。だが、これはエビルが仕向けた罠であった。ブレードに襲い掛かるエビル。ブレードも決意をつけるつもりだ。

しかし、この発電所の地は、かつて家族で訪れていた、汚れなき思い出の場所であった。戦いの最中、ミユキの好きだったアマリスの花畑に突っ込んでしまうブレード。そして、かつての記憶に動揺し、タイムリミットを越えてしまうのだった。

駆け付けたスペースナイツが見たものは、ブルーアース母に襲い掛かってくるブレードだった。

テッカマンエビルの部屋 設定画



決定

クーバー発電所 設定画



決定

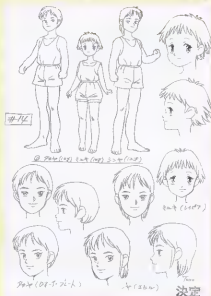
ホログラム ラダム獣 設定画



エビルランサーの使用法



幼少期のタカヤ、シンヤ、ミユキ 設定画



決定

# 「魔神蘇る」 第15話



悪魔と化した彼を救うために...



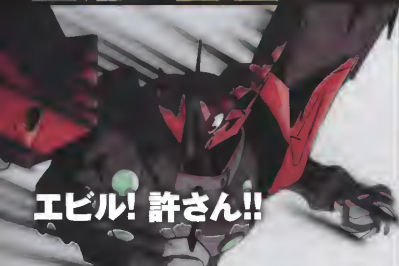


テックセットのタイムリミットを超えたことで暴走し、連合防衛軍相手に暴れまわるテックマンブレード。フリーマンは、ブレードを元に戻すため、データ分析を行うように命令を下した。その頃、ブレードの館の下で、Dボウイは襲撃にさいなまれていたのだ。このままブレードが進軍を続ければ市街地に突入し、多くの市民が犠牲となるだろう。もし最終防衛ラインを超えるのなら、防衛軍は強力な反応弾を発射するとの決定をくだした。悪魔の心に支配されたDボウイに仲間の叫びは聞こえない。ついに防衛ラインを突破し、ブレードに反応弾が撃ち込まれる。しかしこの最強兵器をもってしても、ブレードを破壊することはできなかった。ブレードは滑けたクレイターの中から現れ、再び侵襲を始めるのだった。

反応をモニターしていたミリーは、騒動を乱したDボウイが「ミユキ……」とつぶやくのを聞き過ぎなかった。ブレード脱走の任を受けたミリーは、その進路上に立ち上がり、ついにブレードを止めることに成功。そのまま気絶してしまうのだった。

意識を取り戻したDボウイは激怒し、オービタルリングへと暴上昇してエビルにボルテッカを打ち込むのだった。

今回の事件を受け、テックマンが両刃の剣であることを確認したコルベツト准将は、従軍記者としてスペースナイツに導入させていた工作員バルザツタに、行動開始の指令を与えるのだった。



エビル! 許さん!!

## 「裏切りの肖像」

第16話



正気を失ったブレイドは人間の脅威にもなる。そう判断したコルベツト准将は、特殊工員バルザック・アシモフに特殊任務の行動を促す。スペースナイツ基地の通風孔を通り、フリーマンが毎晩訪かっている秘密エリアへと潜入しようとするバルザック。だがそこは阻止装置が完備されていた。バルザックは軍が新型ミサイル実験を行うとの偽情報を利用して、隠蔽のための騒ぎを起こそうとするのだった。

翌日、バルザックは取材を終え、自分の部署に帰るとスペースナイツに告げる。Dボウイに対し、人間が不完全さを取り除いたテッカマンを作り出せば、楽になるだろうとからかうバルザック。おまえさんは自分しかラダムと戦えないという運命に酔っているだけだと言づく。

その時、実験区域を襲撃したラダムを迎撃するためのブルーアース号が暴走。Dボウイは、暴走のことを気にして慎重になりながらも、バルザックを意図して、いつもよりも力を入れ、次々にラダム敵を迎撃していくのだった。

その戦いのすきをついて、バルザックはスペースナイツが持っているテッカマンの解析データを盗むべく、秘密エリアへと侵入する。そこでバルザックが見たのは、分析データに基づき複製された地球製テッカマンの実験機体であった。

だがすでにフリーマンは、バルザックの動きを察知していた。ところがフリーマンは、バルザックに銃を突きつけながら解析データを手渡す。果たして、その目的は何か……

## 「鋼鉄の救世主」

第17話



連合防衛軍の基地に帰還したバルザック。持ち帰ったブレイドのデータは、すぐさま分析が開始される。シミュレーションのデータから、テッカマンと同じパワードスーツが製造され、反物質素粒子フェルミオンの実用化も進められていた。

ついに軍は対ラダム用の最高の兵器を手に入れようとしていたのだ。

同じころ、スペースナイツは、フリーマンからテクニクスに所在する反物質の粒子加速器の助産を命じられる。ラダムがこの施設を狙っているのだ。だが自分が暴走する可能性を持っていることに苦悩していたDボウイは、彼ごとの黒幕に苛まれていた……

バルザックと軍のマルロイ博士は、ニューヨークのスラム街を歩いていた。ここは彼らの故郷なのだ。二人は酒場で、酔っ払いの男レイラに絡まれる。彼らはかつて、3人でつるんでいた奔行の年グループだった。13年前、強盗に突ったバルザックとマルロイは、闇に売ったレイラ。それ以来の再会である。あの事件以降、軍に才能を見出された二人は徴用され、新たな人生を歩んだのだ。二人はレイラに感謝の酒をおごるというが、それは復讐の毒酒であった。スペースナイツが警備する施設にラダム敵が迫っていた。隠匿しながら出撃するブレイドだったが、暴走を恐れるDボウイの動きには迷いが生じていた。そんなブレイドを救ったのは、鼻暗かりに浮かぶ彼の影だった……

## 「栄光への代償」

さっさとDボウイに戻ったらどうだ、バケモノさんよ！

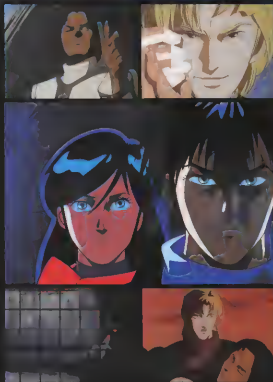


ブレードの危機を救ったのは、防衛軍が作った対ラダム兵器ソルテッカマン1号機に搭乗したバルザックであった。戻来するラダム隊を次々に倒していくソルテッカマンは、一瞬のうちに敵軍勢を掃蕩してしまう。そして、ソルテッカマンの中から現れたバルザックは、戦いに迷いを生じさせているブレードは役立たずの化け物だと罵るのだ。活躍が認められたバルザックとマルローは、栄光の階段を登りだしたのだ。果たして軍にソルテッカマンを製造させたフリーマンには、どんな狙いがあるのだろうか。

反物質の粒子加速器は、軍の科学者によって稼働率を上げられていた。そしてついにソルテッカマンに必要なフェルミオン粒子が抽出され、マルローはそれをニューヨークの軍本部に輸送しようとする。だが、そこにラダム隊が襲い掛かった。輸送機から緊急脱出したマルローを救出するため、アキに託得されたDボウイは、ブレードにテックセット。ソルテッカマンの元に急行したものの、間一髪のところ、マルローはラダム隊に殺害されてしまう。

階級特進の夢を語りつつ、息絶えたマルローを抱き寄せるバルザック。親友を失ったバルザックは、戦場で恐怖に陥つてしまったはず戦闘を放棄したDボウイはクズだと言いつつ、ブレードはただの化け物なのだ。

そして、テッカマンの力を入れたコルベツト艦隊は、暴走する可能性のあるDボウイの逮捕を、軍に指示するのだ。



ソルテッカマン1号機改

● 1号機と2号機のデザインは、それぞれ異なるが、ソルテッカマン1号機改は、2号機と似たデザインとなっている。



● 1号機と2号機のデザインは、それぞれ異なるが、ソルテッカマン1号機改は、2号機と似たデザインとなっている。



ソルテッカマン 1号機改のデザインは、2号機と似たデザインとなっている。

● 1号機と2号機のデザインは、それぞれ異なるが、ソルテッカマン1号機改は、2号機と似たデザインとなっている。



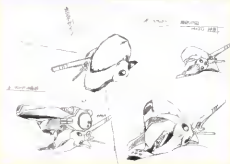
# SOL TEKKAMAN No.1

## ソルテッカマン1号機

身長2.3m、重量1.1t、最高速度50km/h  
バルザックがフリーダムから手に入れたソルテッカマン1号機の複製機。機体は黒と白の配色で、胸部には大きな円形の目がある。腕には銃を装備している。この複製機は、オリジナルのソルテッカマン1号機とほぼ同じだが、胸部の目と腕の銃のデザインが異なる。また、この複製機は、オリジナルのソルテッカマン1号機よりも、腕の銃のデザインが異なる。この複製機は、オリジナルのソルテッカマン1号機よりも、腕の銃のデザインが異なる。

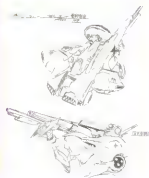
### ソルテッカマン 設定面

ソルテッカマン1号機改は、オリジナルのソルテッカマン1号機を模倣した機体。左腕にはフェリスガンと、右腕には2基の銃を装備している。機体は黒と白の配色で、胸部には大きな円形の目がある。この複製機は、オリジナルのソルテッカマン1号機とほぼ同じだが、胸部の目と腕の銃のデザインが異なる。また、この複製機は、オリジナルのソルテッカマン1号機よりも、腕の銃のデザインが異なる。



フェルミオン砲発射体勢

肩が前後に動いては、距離を感知して万全



ソルテッカマン胸部ディテール画

ソルテッカマン 胸部ディテール画 - 動作も使用不可  
② 発射・格闘、両の場合のみ使用可能



ソルテッカマン 胸部ディテール画 - 動作も使用不可  
② 発射・格闘、両の場合のみ使用可能



フェルミオンランチャー



発射ボーズ



フェルミオン貯蔵カートリッジユニット



インナースーツ



展開ギミック



ソルテッカマン装着図





## 「心閉ざした戦士」

第19話

好き勝手にしてくれたお礼はしなければならない。



防衛軍では、ソルテッカマンを主軸にした軌道エレベーター奪回作戦「オペレーション・ヘブン」が進められていた。フリーマンはテッカマンのコピーに過ぎないソルテッカマンを使った作戦の危険性を警告するが、勝利を疑わないコルベット准将は聞く耳を持たなかった。ソルテッカマンを前面に立て、防衛軍はエレベーター内を進軍していく。

その頃、Dボウイを解放させられないフリーマンに、スペースナイツのメンバーは、不満を募らせていた。そのDボウイは防衛軍の中で、さらなる研究のため身体データを測定される実験体となっていた。隔離施設にDボウイを助け出そうとアキラとアルが潜入する。二人は人気がなくなり、セキュリティもがら空きとなっている施設を進むが、これはフリーマンの指令を受け、コンピュートをハッキングして警備体制にスキを作ったミリーの仕業だった。ついに狭路に囚われた仲間を見つけたアキラだったが、すでにDボウイは、戦いにおびえる狭い場所のようになっていた。

順路にエレベーター内を進軍していく防衛軍にソルテッカマンの前に、テッカマンエビルが立ちはだかる。そして、総攻撃をかけるソルテッカマンをあざ笑うように近づいたエビルは、一発のボルテッカで防衛軍を全滅させてしまう。反抗作戦は失敗に終わり、オペタルリングから多数のラダム眼が、防衛軍本部に向けて降下を開始した。

# 「復活! 怒りの変身」 第20話



ラダム隊による防衛軍本部への一斉攻撃が始まった。その頃、オービタルリングで一命をとりとめたバルザックは、必死に生き延びようと通走ルートを探していた……。

隠下するラダム隊に、反撃の発口が見つからない防衛軍。その圧倒的な攻撃により、基地は壊滅寸前になっていた。しかし、四つ目Dボウイはアキとノアル



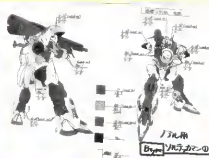
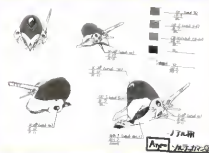
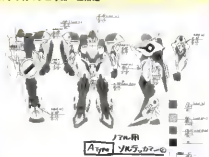
## あなたの30分を私にちょうだい!

止めようとするアキを無視し、不慣れたソルテッカマンで戦い続けるノアル。それでもDボウイは、己を恐れて動こうとはしなかった。だが、とうとうソルテッカマンのフルミオン砲のエネルギーが切れ、ラダム隊の攻撃が再開。ノアルはピンチに陥ってしまう。

止めようとするアキを無視し、不慣れたソルテッカマンで戦い続けるノアル。それでもDボウイは、己を恐れて動こうとはしなかった。だが、とうとうソルテッカマンのフルミオン砲のエネルギーが切れ、ラダム隊の攻撃が再開。ノアルはピンチに陥ってしまう。



## ソルテッカマン2号機 色指定



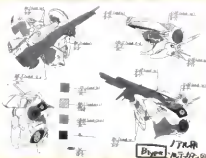
# SOL TEKKAMAN No.2

## ソルテッカマン2号機

身長2.00m 重量180kg 機体速度30km/h ノアルノカマン1号機の子機として用意されている。仕様が1号機に準ずるが、機体のカラーリングがブルーとなっている。適合型素体が窮乏に陥る際に試験用に開発したものをノアルが奪し隠しこごせたり、以機体スペースサインの装備となん、運用時既に製造されていないものの、フレームと重量が重たくて動力の低下が見られる。

### テックシステム

ノアル機、カマンを装備するためのユニット



# 「愛と死の予感」 第21話



## シンヤ、オレに何を隠してる?

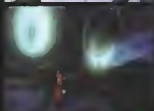
アキの思いが伝わり、Dボウイは苦痛の間の中から抜け出した。しかし同じ頃、オービタルリングで、エビルが不気味な培養球の中の謎の人間たちに話しかけていた……。束の間の安さの中、スペースナイフのメンバーたちは、それぞれのトレーニングに余念が無い。本田とレビンもベガスのページ・インアラブを計画していた。

そんなメンバーたちにコーヒーを配るアキは、どんな心境の変化か、香木をつけていた。「どうやらアキのやつ、おまえさんに……」。アキの恋心を指摘するノアルは、Dボウイの人を愛してはいけないのと思い込みにも気づいていた。ノアルは、恋愛すれば相手の不幸も背負うこともできるというが……。

オービタルリングでは、エビルが培養球に入り、新たな力を身に掛けようとしていた。だが別の培養球から女が飛び出し、地球へと向かってしまふ。それはテッカマンレイビアであった。

レイビアを追うエビル。二人の行動を察知したDボウイとスペースナイフも、落下地点に向かった。飛び込んだ教会でシンヤと遭遇したDボウイは、テックセクトし、戦闘を開始する。アキを追ったエビルに、ボルテッカを発射するフレッド。だが、それは間違った。エビルは、PSSVボルテッカによってボルテッカのエネルギーを吸収し、意のままに操ったのだ。その強力な破壊力に窮地に立たされるフレッド。

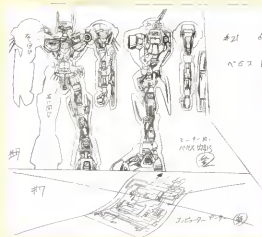
しかしエビルはレイビアの存在を感じ、フレッドを残して後を追うのだった。エビルとDボウイの関係を知る仲間たちは、今はそっとしてやろうとする。



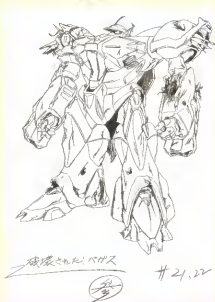
Dボワイ  
トレーニングウェア



ヘガス透視図



破壊されたヘガス 設定画



Dボワイ 包帯姿



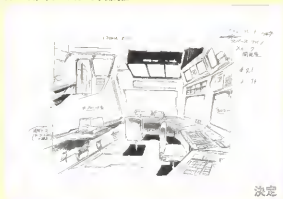
エビル・PSYボルテッカの発射口



ラダム基地内



スペースナイツ メカニック開発室



谷あいの町



教会



砂漠



ロープウェイ



3Dスカッシュ



アキの部屋



## AIBA MIYUKI

## 相羽ミユキ

通称身体質176cm10月18日生まれ、16歳、身長156cm、体重42kg、血液型A、ロカウイこと相羽タカヤの妹、穏やかな性格で、兄であるタカヤを慕い、心配する。ラダムのデジタシステムに取り込まれ、仲買によりシステムから排除されたため、不完全なデジカマン化が原因で破壊し続ける。アマリスの花を好む。



デッカマンレイピア クリスタル



決定



決定

デッカマンレイピアの色指定



ミユキの色指定

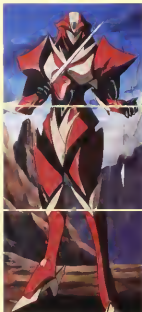


身長195cm 体重70kg、相羽ミユキが変身するデジカマンだが、デジシステムによるフォーマット化が不完全なため、ホルテカの発射口を持ってあらず、撃ち出すことが出来ない。システムから排除されると、ラダム本部の秘密をタカヤに教えるため、デジカマンエビルに知られないよう地球に向かった。



決定

## TEKKAMAN RAPIER





## 「ミュキの決意」 第22話



エビルとブレイドの妹であるデッカマン・レイピアはミュキの姿となり、兄を求めて一人砂漠を彷徨っていた。

エビルの最強兵器PSYボルテックに封殺すべく、スペースナイツでは、その分析とベガスのパワリアップ作業が続けられていた。打倒エビルを目指すDボウイも、トレイニングに余念が無い。フリーマンは、フェルミオンを使ったボルテック以上の兵器をベガスに搭載しようとしているのだ。しかしノアルは、Dボウイを兵器のように扱うフリーマンが許せなかった。

姿を消したレイピアを探し出そうとするエビル。ラダムを襲った彼女を、ブレイドに会わせるわけにはいかない。そのころミュキは運命しきになり、現地の遊牧民に助け出されていた。そこに突然、襲い掛かるラダム戦。ミュキはレイピアにテックセットしてラダム戦を撃退するが、遊牧民は、その姿を恐れて化け物と解る。ショックを受けたミュキは一人痛哭する。

その頃、スペースナイツ基地では、フリーマンが新兵隊ハイコロト・ボルテックを完成させていた。食ってかかったノアルに、仲間たちこそ何かにあてたいのだと気持を語るミリー。フリーマンが防衛軍にデッカマンのデータを送ったのも、同じ理由であったのだ。

そこに、ついにスペースナイツ基地を突き止めたエビルが攻撃を開始する。急ピッチでベガス改修が進められる中、Dボウイはじつと耐えるしかない。そして兄を探すミュキも再び放浪の旅を始めていた。

ノアルのスポーツスタイル



決定

修理工



砂漠の民

ベガス  
改造カット連合防衛軍  
基地

決





# お兄ちゃん、私を見つけて!

エビルの総攻撃をしのぐスベースナイツ基地。無量のレーザーネットジェネレーターも破壊されてしまったが、ベガス改修はまだ終わってなかった。手も足も出ず、焦るDボウイ。ノアルはソルテックマンで、実験用のフェルミオン砲を搭載した戦闘マシンに乗ったアキと共に、仲間達のために出撃する。ソルテックマンと戦闘マシンは、フェルミオン砲でエビルを攻撃するが、傷を与えることすらできなかった。敗北した戦闘マシンは大敗。捕えられたテックマンを人質に、エビルはブレッドが基地の中から出てくることを要求する。

その頃、砂漠で気を失っていたミユキは防衛軍の兵士に救助された。テックマンがいるスベースナイツ基地が攻撃されていることを知る。レイピアにテックウセツトし、ブレッドの元へと飛び立っていくミユキ。それを発見したエビルも、基地襲撃をやめてレイピアを逃した。

ベガス改修が完成したDボウイもまた、レイピアのテレパシーをたどり、追跡を開始する。しかし、追いついた先で見たものは、空中で戦うエビルとレイピアだった。すぐさまレイピアの助けに入ったブレッドは、ハイコートボルトテックでエビルのPSVボルトテックを打ち破く。だが、Dボウイと再会したミユキは、傷付き生死を彷徨っていた。昏迷状態で集中治療を受けているミユキを前に、フリーマンは「もうすべてを話してくれてもいいごろじゃないか、アイバタカや……」とDボウイに話しかけるのだった。

### ハイコート ボルトテック

ベカスの胸からフェルミオン粒子を放出し、ブレートのホルテカをフェルミオンコートし強化する最終武装。テックマンエビルのPSVホルテカを克服するパワーを持つ。

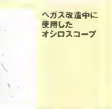
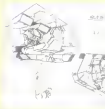


### Dボウイ ジャケットなし

### ミユキを助けた少尉と軍曹



### 原作フェルミオン砲ホバー

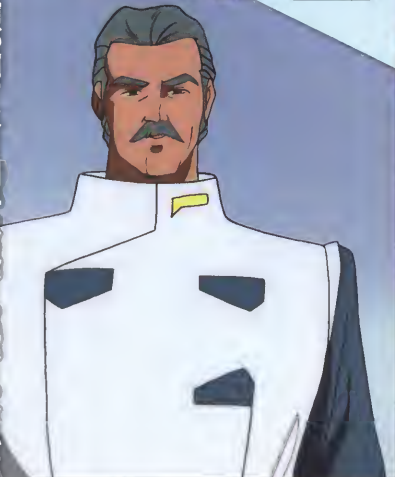


ベガス改修中に使用したオシロスコープ

## 「引き裂かれた過去」

第24話

お前が倒すべき相手は兄でも弟でもない。  
侵略者ラダムなのだ!!



3年前、調査のため土星に接近したアルゴス号の前方に、突然、重力波のひずみが発生した。宇宙空間に巨大なラダムの宇宙船が出現したのだ。しかし、その船には、植物の反応しなかった。相羽博士はミユキに、第2班の乗組員を生命維持装置から起こすように指示し、自らタカヤとシンヤを連れては連絡として調査に向かった。だが宇宙船の船内でラダムに襲われ、

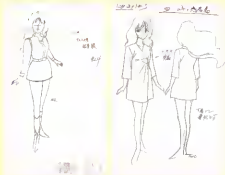
相羽幸三博士と、土星と衛星タイタンを調査するために飛び立ち、行方不明になったアルゴス号について聞いたですフリーマン。聞いていた過去を追求され、ショックを受けたDボウイであったが、気遣うアキの心に触れて、ついに自分の過去を明らかに始めた。

3年前、調査のため土星に接近したアルゴス号の前方に、突然、重力波のひずみが発生した。宇宙空間に巨大なラダムの宇宙船が出現したのだ。しかし、その船には、植物の反応しなかった。相羽博士はミユキに、第2班の乗組員を生命維持装置から起こすように指示し、自らタカヤとシンヤを連れては連絡として調査に向かった。だが宇宙船の船内でラダムに襲われ、

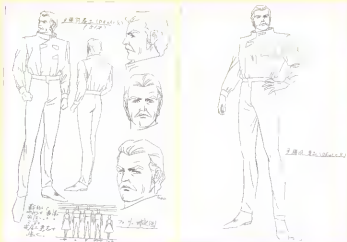
捕らえられた相羽一家は、人体を改造するテックシステムに飲み込まれていくのだった。ラダムはアルゴス号を支配し、生体兵器テックマンを送り出していった。相羽博士は連性に合わせて先に排除されたが、その時、まだ精神支配を受けていないタカヤを助け出し、命を懸けて逃亡させる。相羽博士の遺言は、侵略者の手先となった兄弟を倒せということだけだった。タカヤの脱出カプセルが到着したオービタルリングで、ブレイドのティッカマンは7人。ダガーが死んだので残りは6人である。肉親を、自らの手で倒さなければならぬ過酷な運命に、スペースナイツの仲間達は涙するしかなかった。



## 相羽ミユキ

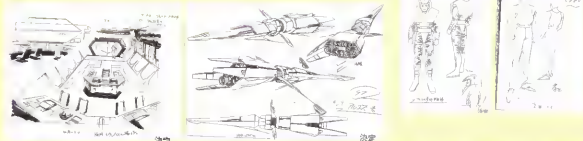


相羽孝三 D市ウイ(タカヤ) ケンゴ ソンヤ ミユキの父。宇宙物理学の権威で 宇宙船アルゴス号で主星の調査に向かうが、ラダムの宇宙船と遭遇し、テノックステムに取り込まれる。



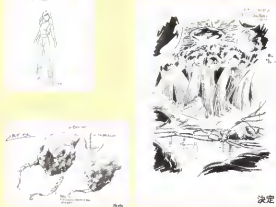
## アルゴス号

土星と木星タイタンの探査を目的とした宇宙船。相羽孝三を船長に、後の子供と仲間が乗船 コールトスリプ装置や脱出ボートを搭載 ラダム母艦との遭遇し形勢に急変される。全長は約400〜500mとされる。



## アキのコスチューム

20th AUA-7ギル3240000

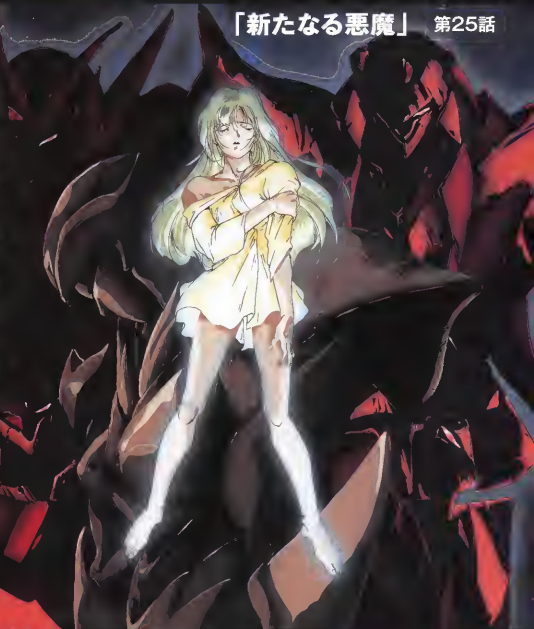


ラダム母艦 地球破壊に来たラダムの巨大な宇宙船 船内にテノックステムを持ち 知的生命体を飼うえてはテノクマンにフォーマットする アルゴス号の自爆によって月面裏に墜落する。



## 「新たなる悪魔」 第25話

ラダム樹の花が一斉に咲いた時、  
地球はラダムのものとなり……侵略は達成される。



Dボワイは、意識を取り戻したミユキから、自分も直正が合わず排除された不完全なテツカマンで、命も残り少ないことを告げられ愕然とする。ミユキはラダムの秘密を伝えるためベストスナイツにやつて来たのだ。ラダムは地球を自分たちに合った環境にするためラダム樹を繁殖させている。その花が一斉に咲くと、侵略が達成されるのだという。テツカマンの陣点に立つオメガは、残りのテツカマンであるアックス、ラン、ス、ソードの戦艦を急いでいる。その本拠地は月の裏側。想羽博士は土星を通過したラダムの宇宙船を機銃化した、制御不能になった船が不時着したのが月だったのである。ラダム月面基地を即時攻撃するかどうかで対立するDボワイとフリーマン。Dボワイは復讐に燃えていた。しかし苦しめたミユキは、また本拠地、治癒室に運ばれてしまう。体が絶倫前線に記されているのだ。落し首を取り戻したミユキは、海が深いとDボワイに告げる……。





その頃、コルベット准将を長に、防衛軍で新兵をフェルミオン・ミサイルを使った狂気の作戦が進行していた。しかしミサイルをオリーブリングに打ち込めば、破壊された施設が落下し、地表の数億の人間が被害を受ける。

思い出の海岸で昔のように語り合うロボウイとミユキ。だが、そのひとときの幸せも、ラダム軍のスペーサナイフ基地攻撃で壊される。現れたのは、エビルが率いる三人のテッカマンだった。



## TEKKAMAN AXE

### テッカマンアックス

武骨なスタイルが特徴的な近未来型のテッカマン。タカヤとシンヤに格闘技を教えたゴードが変身する。片方の先端に斧を装備した武器を持ち、パワーを生かした一撃りで衝撃波を放てる。ボルト・テカは左右胸部に各3門、計6門を装備する。



テッカマンアックス 設定画



決定



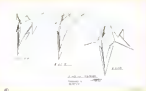
決定

テッカマンアックス  
色指定



決定

アックス・ランス・ソードのクリスタル



決定



決定





# TEKKAMAN LANCE

## テッカマンランス

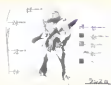
半獣タイプのテッカマンで、アルゴス号に乗り込んだいたモロトフが変身する。作戦立案や指揮をすることが多いが、戦闘力は低くない。片方の先端が青龍刀のようになった武器と、両腕に装備されたサルテッカは、敵弾のように反射できる。



テッカマンランス 設定画



テッカマンランス 色指定



# TEKKAMAN SWORD

## テッカマンソード

デジカマンオメガとなった、暗黒ケンコの実験的者ファンが変身したオメガの連発が主な役割。女性らしさを漂わせるスレンダーなフォルムだが、繰り出す技は強力でワイヤーでつなぎタンクのようになり固める武器を駆使する。ホルテッカも装備。

決定稿とは異なる彩色見本



テッカマンソード 設定画



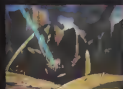
テッカマンソード 色指定



決定

「死をかけた戦い」

第26話



約束する、私待ってる  
お兄ちゃんが帰ってくるまで…

だって私、あの砂浜、お兄ちゃんと  
一緒に見たいから…。



バーシエル少佐 設定画



ブレードとソルテックマンは、エビル、アックス、ランス、ソードの暴政を凌ぐことができず、スペースナイツ基地は壊滅寸前となっていた。同じころ基地内では、ミユキの体が、ついに組織破壊を起こし、最期の時を迎えようとしていた。その時、防衛軍基地からフェルミオン・ミサイル発射のカウントダウンが始まったとの知らせが入った。狂気を帯びたコルベット准将は、防衛軍内部でも止められなくなっているのだった。

ノアルの操縦するブルーアース号を、エビルたちを引き付ける圈に使い、ミサイルを止めるためのDボウイは出撃する。ブリストラーを取り付けたベガスは、ミサイル発射の前に防衛軍基地に到着。発射30秒前、ブレードはラダムの本拠は月面なのだとコルベットを説得するが、ミサイルはもうどうしようも立ってしまっ。全速力で追跡したブレードは、ハイコート・ボルテックでミサイル撃墜に成功するのだった。

一方、エビルに脱出口を破壊されたスペースナイツは、絶体絶命の危機に陥っていた。ブルーアース号の帰還はもはや間に合わない。基地防衛のため、ミユキは一人、レイピアにテックセットしエビルたちに立ち向かう。だがレイピアは、抵抗望しく捕まってしまうのだった。死の間際、ミユキは兄を想いながらエネルギーを開放し、エビルたちを巻き込んだ大爆発を起こすのだった。

連合地球暦192年5月6日、スペースナイツ基地は地球から消滅した。

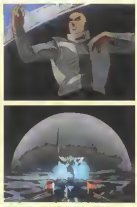
あなたたちに殺させはしないわ。



フェルミオンミサイル発射場



生きていてくれ、ミユキ!



連合地球暦192年5月6日、スペースナイツ基地は消滅した…

# 「残りし者への遺産」

第27話

スベースナイツとラダムの  
熾烈な戦いの中、残された一  
枚のファイルが、彼らの記録  
を語りはじめた。スベースナ  
イツは、殊方となったDボウ  
イ以外にも、数々のテッカマ  
ンに遭遇していた。彼らはラ  
ダムの精神支配を受け、ラダ  
ム敵を誘導する尖兵に改  
造されていたのである。テッ  
カマン同士は絶縁な絆で結ば  
れ、戦う運命にある兄弟た  
ち、仲間たちだった。こう  
した秘密は人類の未来のため、  
勇気あるものに託された



# 「白い魔人」

第28話

防衛軍とスベースナイツ基地が崩壊し  
てから数日後、防衛ラインを失った地  
球に、ラダムの本格的侵襲が開始され  
た。ラダム軍に制圧された地上では、生  
き残った人間たちによるゲリラ戦が展開  
されていた。しかしゲリラたちには、ラ  
ダム軍を殲滅するまでの武力はない。人々の  
間にはラダムを次々に倒す「白い魔人」  
の伝説が流れていた……。  
ゲリラたちの生活に、一人の流れる者が  
たどり着いた。エネルギーを求める流浪  
者だろうか。その時、繁華に発電機を通



ラダム軍が異い振る。その前に立ち  
はたかった流浪者をラダム軍が追いつめ  
ると、紛争の中からソルテッカマンが現  
れた。  
ソルテッカマンと抵抗勢力を率いて  
いたテッカマンアックスの軍勢との戦い  
が始まった。しかし、分の悪いソルテッ  
カマンが危機に陥ったその時、忽然と白  
い魔人が現れる。「Dボウイ」、驚く  
ノアルの目の前で、ラダム軍を暗く闇に  
全滅させるブレード。しかし一撃打ちは  
決断がつかず、アックスは退却する。ノ

アルとDボウイの久々の再会であった。  
5か月間、放浪していたDボウイは、ラ  
ダムの目面基地を叩くための宇宙船を探  
していたのだ。しかし、地球上は宇宙  
船はもうなかった。そこでワールド  
ジェネレーターのエネルギーで一気に宇  
宙空間へ飛び出そうとしていたが、ブ  
レードのクリスタルでは、そのパワーが  
無い。Dボウイは、ほかのテッカマンか  
らクリスタルを奪うため、各地で戦いを  
挑んでいたのだ……。

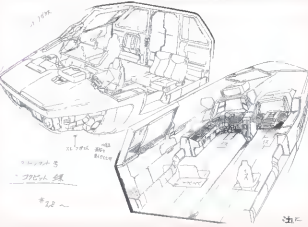
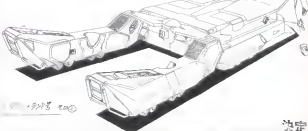
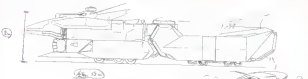
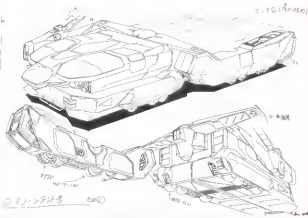
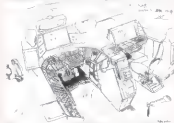
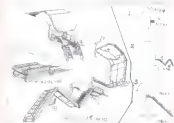
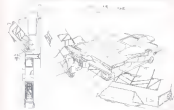
そして5ヶ月後…

## GREEN LAND グリーンランド号

スペースナイン基地破壊後、ノアル、アキ、ミリア、レビンらが乗り込み、地上のダム破壊を行っていたトレーラー。各種探査装置を搭載している。後部にフルーアース号のコンテナ部を接続しており、ペガスやノルティカマンを収容している。地上走行のみならず、水上を船舶のように移動することも可能。全長約35m。

グリーンランド号 設定画

グリーンランド号 設定画

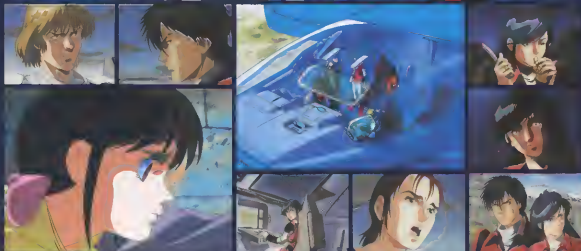


決定

決定

# 「戦いの野に花束を」 第29話

いまのオレには  
ミユキの仇をとってやる事も出来ない…。



生き残ったスペースナイツたちと再会したDボウイ。一行は月面ラダム基地へ向うため、テツカマンのクリスタル、あるいは宇宙船を探す旅を続けるのだった。フリーマンと本田は基地に残り、修繕に没頭しているという。だが、今や新たな拠点となった大型トレーラーも、はやエネルギーが切れ。しかし、補給に寄った町では、ノアルとDボウイは燃料を分けてもらうどころか、スペースナイツの戦いがへばったからこんな状況になったのだと罵られ、けんもほろろに追い返されてしまう。

その町の発電所が稼働するのは明日。そのタイミングで、ノアルはもう一度、交渉するというが、生き残った人々は自分たちの生活を守るだけで精いっぱいだった。当日、エネルギー配給の列に向かうが、やはり追い返されてしまうスペースナイツ。街のリーダーは警戒しながら発電タービンを回すが、家の定、それを購置した巨大なラダムが襲撃してきた。スペースナイツは、自分達を追い出した街の人間に暴撃をつきながらラダムと戦い始める。

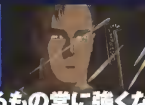
その最中、逃げ遅れた花売りの少女を保護し、腕につかまってしまうブレード。しかし、アキとの連絡で見事にラダムを倒すことに成功する。

少女から買ったのか、アキに花束を贈るDボウイ。たった一人の戦いを続けるDボウイは、アキに対してよそよそしい態度をとることしかできなかったが、アキは「これでいい」と自分を納得させるのだった。



## 「父の面影」

第30話



## 泣くなノアル。軍人たるもの常に強くなてはいかん。

スベイスナイツのトレーラーでの旅は続いていた。しかし、アックスが現れたという街にたどり着いた一行だったが、それは単なる噂だったらしい。アックスが街を襲ったという割には、破壊の様子も中途半端だったからだ。

無残に壊された住宅街に向かったアキ、ミリィだったが、ノアルの態度がどうもおかしかった。とある邸宅に入っていくノアル。そこは彼の生家であつた。今や打ち捨てられたように朽ち果てた屋敷。ノアルはそこで思い出に浸る……。その時、急に思い出したようにブルヘ向かうノアル。ブルの底に隠れシエルタワーが設置されていたことを思い出したのだ。だが、そこではノアルの使用人たちが避難して暮らしていた。ノアルの元軍人の父は、一人でラダム戦に立ち向かい命を落としたという。

一方、ロボウイは街を探索していた。その背後からつけてくる男を捕まえ、街を襲ったのは無法者と化した人間たちであることを知ることになった。

ノアルを導く執事クリストフの策ソフィアを人質に、屋敷を奪おうと攻撃を仕掛けてくる無法者たち。だが、ミサイルの爆発におびき寄せられ、ラダム戦が押し寄せてきた。たった一人で戦いを挑んだソルテツカマンにブレイドが助勢する。

戦いを終え、子供たちにサッカイ場を作つてやったノアルは、ソフィアに別れも告げず去っていくのだった。その時、レビンは、街で別のテッカマンが現れたという情報をつかんできた。

無残に壊された住宅街に向かったアキ、ミリィだったが、ノアルの態度がどうもおかしかった。とある邸宅に入っていくノアル。そこは彼の生家であつた。今や打ち捨てられたように朽ち果てた屋敷。ノアルはそこで思い出に浸る……。その時、急に思い出したようにブルヘ向かうノアル。ブルの底に隠れシエルタワーが設置されていたことを思い出したのだ。だが、そこではノアルの使用人たちが避難して暮らしていた。ノアルの元軍人の父は、一人でラダム戦に立ち向かい命を落としたという。

一方、ロボウイは街を探索していた。その背後からつけてくる男を捕まえ、街を襲ったのは無法者と化した人間たちであることを知ることになった。

ノアルを導く執事クリストフの策ソフィアを人質に、屋敷を奪おうと攻撃を仕掛けてくる無法者たち。だが、ミサイルの爆発におびき寄せられ、ラダム戦が押し寄せてきた。たった一人で戦いを挑んだソルテツカマンにブレイドが助勢する。

ソルテツカ  
BOX花台  
設定画

## 「復讐の街」

第31話



## 勝てない事がわかっていても戦う気なんだ。

旅を続けるスベイスナイツは、増々とオンを奪かした酒場に到着する。このままではラダム戦をおびき寄せてしまう。悪いメンバーが酒場に入り、ブレィカーを落とすが、店の客と一触即発の状態。しかし、ノアルはこの店を譲り出さず、敵のテッカマン位置を探り出そうと提案する。

しかしレビンは、客たちが軍の装束を持っていたことに気が付いていた。彼らはかつて、この地にあった軍の基地の生き残りらしい。彼らはラダム戦をおびき寄せ、差し入れる気なのか。レビンは真相を確かめるために偽り店に赴くが、客に化けた兵士に囚われてしまった。それを救ったのは美麗な指揮官であつた。翌日、レビンは再び酒場で、兵に擁護するよう説得する。その時、酒場に再び響く警音。ラダム戦が襲撃してきたのだ。

一方、レビンと指揮官は新兵器「二ユニット砲」の準備に入る。その強力な出力にレビンは驚くが、復讐に燃える指揮官は危険も辞さないという。指揮官は恋人や仲間を救ったアンナという女性であつた。街にアックスが現れた。アンナは二ユニット砲でラダム戦を撃破するが、味方のもとアックスを倒すことはできなかった。砲を狙うアックスの前に、ブレイドが立ちちはだかった。しかし、あと一息のところアックスは撤退するのだった。

アンナは、またいつか会う日を約束し、レビンに別れを告げるのだった。

# 「待ちわびた少女」

第32話



まあ、やっぱりお客様だったのね。

ラムダ樹の森が拡大する中、スベイスナイツのトレイラーが進む。そこでラムダム獣が植物形態に変わっていくのを目撃する。その森の傍らに古城があるのを発見したメンバーは、一夜の宿を借りようと思ったのは、古城に住み続ける少女クロリアとロボットのロビーであった。

少女は、ラムダム機が本格化した、半年前に出かけていった伯父の帰りを待ち続けていたのだ。同じ年頃のミリーは、夕食のため、クロリアにドレスを借りるという。クロリアは同じ年頃の女の子に会ったのは初めてだという……。夕食の高にきかないドレスを譲ったミリーに息をのむ一同。のどかな晩は静寂と共に過ぎていった。

一緒に城を出ようというミリーの招待に、耳を貸さないクロリア。ノアルとレビンは、城の地下にワインを探しに行き、ロボットの制作室を発見。クロリアの写真を見つけたが、それは20年以上の前のものだった。その時、森を駆け上りラムダム獣が城を襲った。ブレードとソルテックカマンは侵襲を食い止めるようとするが、避難を優先させることを決断する。クロリアはミリーを地下シエルターに連れて行くこととするが、崩れ落ちた天井に傷を受ける。しかし、そこで流れたのは血ではなくオイルであった。

スベイスナイツは外に避難するが、ロビーとクロリアは城が崩壊する中、シエルターに入っていくのだった。ノアルは、自分たちは誰かの思い出の中に紛れ込んでしまったのだという……。

各地でラムダム獣と戦い、住民たちを助けていくスベイスナイツ、とある街の近郊で、ロボワイはラムダム獣に襲われた女性リルルを助け出し、彼女の家に立ち寄ることになった。奥庭には、たわなに実った野菜や果実が実っていたが、そこで働いていたのは死んだと思われていたバルザックであった。

リルルの弟リルクは、バルザックとスベイスナイツが仲間だったと知り、大喜び。だが、彼は苦渋を飲まされたロボワイは複雑な心境だった。バルザックはオペレーション・ヘブンの後、地球に降り、荒野で遭難した時にリルル姉妹に助けられたのだ。意識を取り戻したバルザックは誰かを目撃して人間性を取り戻し、二人を守っていくと誓ったのだという。しかしノアルのソルテックカマンを見て、親父マルローの仇を討ちたいという復讐心も芽生えていた。そのバルザックの心算を読み、ロボワイは、ラムダの本拠が月面にあることを教えるのだ。そのためには、テックカマンのクリスタルが必要なのだ……。

ラムダム獣の反乱を抑制し、アックスの大量勢が襲来してきた。スベイスナイツとの戦闘が開始される。リルルは、バルザックがいつかここを出て行ってしまうことを知っていたという。ソルテックカマン1号機に乗り込むバルザックは、ブレードと2号機の危機を救い、アックスを撤退させることに成功する。

翌日、バルザックは見送るリルル姉妹を残し、スベイスナイツと共に旅立のだった。

# 「荒野の再会」 第33話

オレは人間としての心を取り戻していった…。



## 「光と影の兄弟」

第34話

どちらか一人、  
残ればいい

月面のラムの地点で、復活の時に向け、シンヤはトレーニングに余念が無かった。また、イングリッドにいたアックスも、ブレードとの対決を予感、スベースナイツもまた、アックスの居場所を予測しドパー海峡を渡っていた。

シンヤの脳裏に兄タカの思い出が蘇っていた。努力家のシンヤは、天性の才能で勝利を得ていたタカヤに劣等感を抱いていた。だがタカヤ自身も、粘り強いシンヤには勝てないと思ひ込んでいたのだ。シンヤは父親相羽博士の助手ゴダード、現在のアックスの手ほどきを受け、格闘技を習得していた。

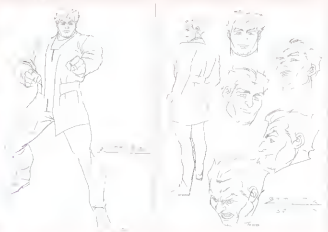
相羽博士が宇宙に旅立つ少し前、博士とゴダード、タカヤとシンヤの4人は、サバイバル訓練に出かけて行った。突然の大雨で洞窟に閉じ込められる一行。落雷の衝撃で川に流されたタカヤは、必死にシンヤを助まし、ようやく命を取り留めることができた。その時、相羽博士は、シンヤを先に助け、タカヤを自力で遺い上がらせ、それはタカヤの力を促せる父の行動であり、シンヤのコンプレックスの根源である。決断を望むシンヤは、ブレードを拜するシミュレーションを繰り返していた。Dボウイは、傷ついたミユキのクリスタルをアキに見せ、彼女はテッカマンになりながら人間の心を残していた。アックスもエビルも、どこかに言のままの自分を残しているに違いはない。それでもDボウイは、二人の野望を叩き潰すことを誓うのだった。



**GODDARD** ゴダード

テッカマン・ジャックスに変身。テックスシステムに取り込まれる前は、電子工学のエキスパートとしてアルゴス号に乗組していた。船長である桐村幸三の親友であり右腕。武道の達人で、タカヤとシンヤに格闘技のいろはを教えた。ロウワイを「タカヤ坊」と呼び愛着の情もあるが、ラザムの精神支配下のためか、シンヤに忠誠を尽くし、ロウワイを陰謀的に追い込む。

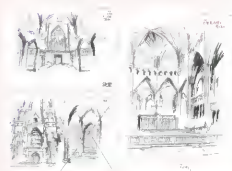
ゴダード 設定面



## レイピアのクリスタル



カンタベリー大聖堂



決定

## 「霧の中の敵」

第35話



## 殺し過ぎだぞ、アックス。

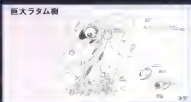
ラダム樹の森の中の聖堂がアックスの居城であった。テックマン、オメガの通信で、エビルが復活したことを知るアックス。エビルが地獄に帰ってくる前に、ブレードを始末することを画策するアックスは、クリスタルを持っている限り、自分に手は出せないだろうと考えていた。

スペースナイツのトレイラーがヨロップを盗む。車中でDボウイは、ミユキのクリスタルについて、の体談を語っていた。スペースナイツ部隊後、Dボウイはラダム樹と戦う旅を続けていたが、その時、ミユキのクリスタルがテックセットと感知し、テックマンがパワーアップしたのだった。

ラダム樹が過密になり、トレイラーを置いて隠匿車で逃げるスペースナイツ。この先にアックスがいるのだ。タイヤをとられ立ち往生すると、Dボウイはアックスを求めて歩き出す。ついに聖堂にたどり着いたDボウイは、迎えに出てきたゴダードに遭遇。「ラダムに反れ」と最後の通告を受ける。しかしDボウイはそれを断頭として拒否するのだった。かつての格闘技の師との戦いが始まった。

同じころ、後を追ってきたスペースナイツは聖堂の外でラダム樹の攻撃を受けていた。ベガスは、横港に足をとられ身動きができません。Dボウイはテックセットが

追い詰められたDボウイだったが、二人のソルテックマンの助けを借りて、ようやくテックセット。アックスとブレードの機體な



巨大ラダム樹



## 「決戦!!アックス」

第36話

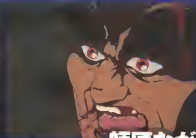


## いい勝負だったぞ、タカヤ坊。



アックスのクリスタルを無償で手に入れるためには、ボルテカは使えない。肉弾戦ではアックスの技が上回っていた。次第に追い詰められていくブレード。しかし、援軍役のソルテックマンと戦闘不能に陥っており、ブレードは圧倒的に不利であった。

だが、そこにブレードを追ってきた新軍がたどり着いた。彼らは、かつてブレードが軌道エレベーターの中で救った特殊部隊の



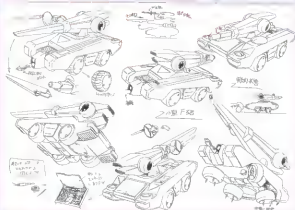
## 師匠ながら、惚れ惚れしたぞ。

バーナード軍曹だった。軍曹にブレイドたちの情報を伝え、救援を要請したのは、極密拠点で研究を続けるフリーマンであった。

巨大ダム樹が作り出したコロシウムの中で、ブレイドとアックスの運命を決する最後の決戦が始まった。アックスの猛攻に、ボルテッカの使えないブレイドは最大の危機に陥っていた。だがアックスもボルテッカを封じ立ち向かってきた。

コロシウムの壁に阻まれ、ブレイドを助けに行けないスペースナイツ。バーナード軍曹はロボワイ救出のため、高でできた壁に衝撃を仕掛け、穴を開けることに成功する。

その時、アックスはとどめの必殺技を繰り出すが、ブレイドは一瞬のスキをついた手刀で反撃。かつての師匠であるアックスを振り去るのだった。



小型  
フェルミニオン  
設定画

バーナード軍曹



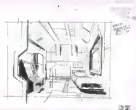
タカヤとシンヤ（過去）



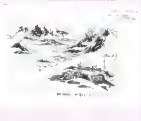
レスリング室



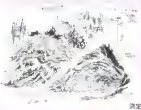
アルゴス号 シンヤの部屋



スペースナイツ基地



ラダム樹のコロセウム





## 第37話

## 「触まれた肉体」

お前の体はな、  
もう普通の体じゃねえんだ。



アックスに勝利したブレッドであったが、目的のクリスタルを手に入れることはできなかった。スベイスナイツと行動を共にすることになったバーナード軍曹は、気落ちしているDボウイに、フリーマンから聞かされたビデオ・メッセージを見せる。それはアスカに破壊された新スベイスナイツ基地において、ブルー・アリス兵の修復のめどが立ったので帰還せよとの指示であった。日か月の放浪を終え、クリスタル無しに月に行けることになったのだ。しかしDボウイは、自分の肉体の真価に気がつきはじめていた。その晩、軍曹はノアルに、アイスランドの工場に寄って新兵補給に使うチップを手に入ると告げる。同時に軍曹は、Dボウイの肉体が、組織崩壊のため触まれていることを指摘するのだった。

アイスランドに到着したスベイスナイツだったが、その朝、Dボウイの全身に痛みが走り、とうとう倒れてしまう。湖の底の倉庫へは2機のソルテッカマンが潜ることになった。しかレトラーに遭遇する途中、水中で泳ぐラダム隊に遭遇する。だが、水中ではフェルミオン砲が暴走して使うことができない。ソルテッカマンには逃げることはできないのだ。仲間を救うため、決死のテックセットをするDボウイ。水中でソルテッカマンを救い出し、連携してラダム隊を全滅させるが、口から血を吐き出し倒れこんでしまうのだった。

バーナード軍官防寒服



決定

ミリー防寒服



決定

レビー防寒服



決定

パッケージ入りマイクロチップ



決定

特殊部隊員たち



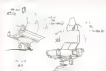
決定

データディスク



決定

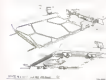
工場跡



決定



決定



決定



決定



決定



決定

工場跡

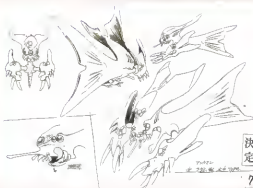


決定



決定

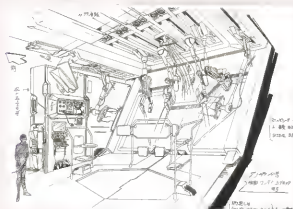
水中型ラダム機



決定

決定

グリーンランド号内部

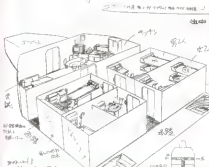
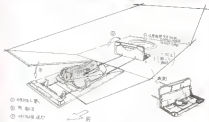
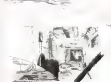


決定

決定

決定

工場内部



## 「死への迷宮」

第38話



トレーラー「グリーンランド号」は、ラダム獣の追撃から逃げながら、水上を逃んでいた。昏睡状態のDボウイはようやく目を覚ました。が、肉体は満身創痍。ついに海中に逃げ切るグリーンランド号だが、水中ラダム獣の大群が秘かに追跡していた。

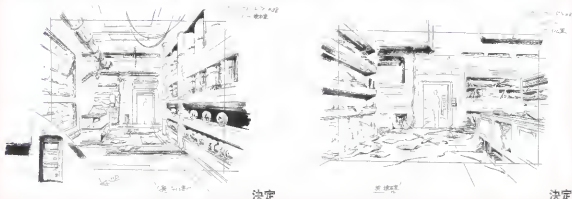
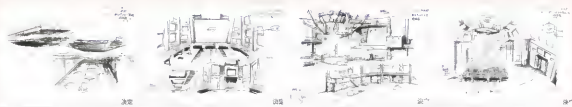
ラダム樹の森の中の洋館で、テックマンランスとソードが話しかけていた。ランスは、エビルではなく自分がブレードを始末すると誓う。ようやくアラスカに到着し、秘密基地に潜伏するスペースナイツ。Dボウイは、すぐさま緊急治療を受けるが、フリーマンはテックマンに変身しなければ命は助かるという。そして、Dボウイの役目も終わったのだと冷たく言い放つのだった。

あてもなく基地内を彷徨っていたDボウイは、ある部屋で、花が咲いたラダム樹を発見する。この花を見つけた調査員は内部に取り込まれ、新たなテックマンへと成長をせられようとしていた。Dボウイはこの花を使つて、自分も、もう一度テックマンになれるかを考えていた。フリーマンはそのためにはテックマンとなる素体を爆発的に進化させるブラスタ化の必要があるという。しかし成功確率は50%。たとえ成功しても命は3か月しか持たないだろう。アキは生きるということも、もつと考えてと言つた……。Dボウイは命を懸け、ブラスタ化することを決意する。その時、ランスが率いる、ラダム獣の大群が秘密基地に襲来してきた。

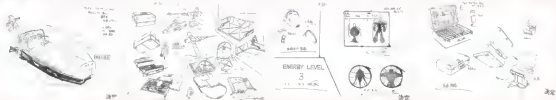
# 必ず生きて戻ってくるさ。



新スペースナイツ基地

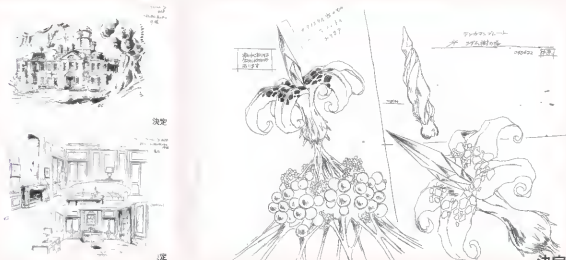


医療施設の機器類



ラダム樹の森の中の洋館

ラダム樹の花



後半部、新テノカマン対決編《メカ》



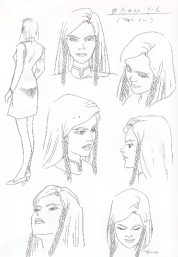
後半部、新テノカマン対決編《カマフラター》



## MOLOTOV

### モロトフ

元アルゴス号の乗組員で、相羽幸三らとともにテノカマンシステムに取り込まれてしまう。功名心が強い野心家で、テノカマンランダムとなつてからは、テノカマンエビルの部下でありながら、エビルより先にテノカマンプレートを開示することで下位上を握おうとする。自己持論が強く、物事を度下す冷血漢で「人間を「種」と呼び蔑んでいる。



## FONG LEE

### フォン・リー

相羽ケンゴの婚約者で、元アルゴス号の乗組員。土星の衛星軌道で式を挙げるが、仲間たちとともにテノカマンシステムに取り込まれてテノカマンソードとなる。その後もテノカマンオメガとなったケンゴを愛し続けるが、ラダムの支配下にされたことの影響からか、ケンゴへの愛が過剰化。フレード打倒のため、ソルジャーを利用する。



決定

決定

成功しても、君の命は持って半年。







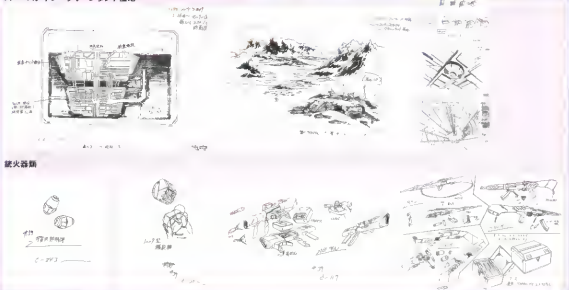
Dボウイは未知なる可能性に照  
 以、ベガスの内部で、生と死の狭間  
 で戦っていた。ブラスタライズの調整  
 完了まで、あと1時間。バーナード  
 軍曹指揮のもと、襲来したラダム敵  
 に対する防衛作戦が開始された。ソ  
 ルテックガンは外部、ほかは二人一  
 組で内部の防衛につく。対ラダム敵  
 用の銃器もフリーマンが用意してい  
 た。

基地内部に侵入しようとするラダ  
 ム敵と、スペースナイツの決戦の火  
 がたが切られた。基地の防衛機構は  
 堅固で、なかなかラダム敵の突撃を  
 許さない。その時、繰り広げられる  
 激しい戦いを見つめるランスが混乱  
 に乗じて基地に潜入する。  
 侵入に成功したテックカンラン  
 スに対し、必死に抵抗し、重傷を負っ  
 てしまう本田とレビン。ランスは攻  
 撃をもとめせず、ついにブラス  
 タライズの調整ルームまでたどり着い  
 てしまう。調整完了まであと1分。  
 軍曹は差し迫るつもりでランスに  
 抱きつき、爆発弾を爆破させ、時間  
 を稼いだ。

激しい振動と共にベガスが降り  
 立った。ブラスタライズが成功したの  
 である。ベガスの中から現れたのは、  
 進化したブラスタライズテックカン  
 であった。調整の成功を知り、安  
 心したかのように、軍曹はこと切れ  
 る……。ブラスタライズテックカンの戦  
 闘力は圧倒的だった。発射したボル  
 テックは、一撃でランスとその軍  
 曹を全滅させた。しかしテックセット  
 を解除して戻ってきたDボウイは、  
 整面のパワーを使ったため、目も見  
 えず、すべての感覚を失っていたの  
 である。



# スペースナイツ グリーンランド基地





# BLASTER TEKKAMAN

## ブラスターテッカマン

フリーマンが研究し発見した、テノカマンの進化形態。ブラスター化と呼ばれる、テックセット後に再度変身することで、再構成された各アーマーは強化され、パワーもスピードも格段にアップする。全身に16門あるボルテッカは、超ボルテッカとなって全方位の敵を片滅させるパワーを持つ。しかし、ブラスター化の影響で、変身への前後への負担も増大させてしまう。



### ブラスター化

プレートは、ブラスター化する際各アーマーが壊れ散り、その内部から新たに生成された強力なアーマーが姿を現す。



### スリットバーニア

ブラスター化した際に、バーニアもスリット型となり、後退翼のように大きく飛び出した。



### テックランサー

ブラスター化に伴い大変化した。テックランサーは、強力な衝撃波を生み出すことも出来る。



### 超ボルテッカ

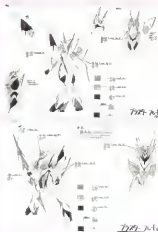
胸を前方で開き、前面にボルテッカを集約すると、ブラックホールを思わせる球状のエネルギーが発生。周囲の物質を飲み込むように拡散されたボルテッカがすべてのものを破壊する。



プラスターテッカマン 設定画



プラスターテッカマン 色指定



プラスターテッカマン、ホルテッカ等設定画



# 「愛と戦いの二人」 第40話

復活したブルーアリス号の最終調整が完了しようとしていた。プラスター化し、テッカマンランスを拜ったロボウイは、そのまま警備に陥り、まだ目覚めない。運命の出会いから、テッカマンとして戦い続けてきたロボウイ。肉親や友人と争う、過酷な宿命に翻弄される彼の姿を見続けてきたアキは、仲間となり、やがて愛し始めていた。繰り広げられる戦いの中で、アキは傷ついていくロボウイを見つめていく。



彼は、いつまで苦しい戦いを続けるのだろうか……



俺にあるのは、怒りと憎しみだけだ！



スぺースナイツ基地に医師が束訪した。昏睡状態のDボウイの検査をするためである。心配し、診療を見守るスぺースナイツ。だがドクターの診断では、肉体的には全く異常がなく、触まれていた健康も回復しているという。

同じころラダムの本拠でも、エビルがブレイドとの戦いで倒れた僅からの復活を遂げていた。それを要するテッカマンオメガは、ラダムが地球に降りる日を夢んでいた……。

基地ではDボウイが昏睡から覚め、施設内の植物プラントに作られたバーナード重曹の蒸し湯を供えていた。しかし、それを見つけたアキとの会話が少しかみ合わない。Dボウイは、プラスチックテッカマンとして蘇ったが、プラスチックの副作用による記憶の混乱という症状に悩まされはじめていた。今後、テックセツトするたびに、症状は進むだろう。その頃、オービタルリングからエビルが地球降下していた。

基地ではフリーマンが、ラダムの研究成果をスぺースナイツのメンバーに伝えていた。テッカマンはラダム敵を捕る半商い怪で、ラダム敵は糧を捕えるために侵襲を繰り返していたのだ。そしてラダム樹の花は、人間を乗体テッカマンに生まれ変わらせる培養器であった。

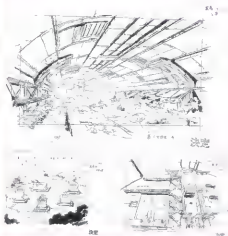
基地内に潜入したエビルの存在を察知したDボウイは、エビルを探し出し、つかみかかる。テッカマンとなった二人は植物プラントで衝突する。だがパワーアップしたエビルの武器がテッカマンを貫いた――。



ラダム基地地獄カプセル



農場プラント



ラダム寄生虫 設定画



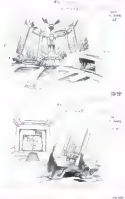
ラダム寄生虫 / 設定画

Dr.コーエン 設定画



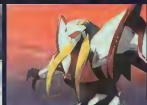
設定

フォン・リーの指令室



素体テッカマン 設定画





## Dボウイ…自分とお前をつなぐ大事な言葉だ…。



エビルに胸を刺し貫かれたブレッドだったが、ソルテックカマンの援護もあり、撤退することができた。一命をとりとめ、帰還したDボウイであったが、自分の記憶が混乱していることに気がついていまいなかった。しかし、その症状を自覚した時には、手遅れになってしまっただけ……。オービタルリングから多数のラダム戦艦が降下してくる。あとはテックカマンオメガがラダムの母艦と共に動き出す最終作戦だった。オメガはソードに、ブレッドを倒そうとするエビルを助力するよう命令する。オメガの命令しか聞かないソードは、かつてのケンゴの婚約者であったのだ。

Dボウイはプラスチックの代艦として記憶を失い始めていた。バルザックは、彼とアキをつなぐ「Dボウイ」という名前を忘れた

なとアドバイスする……。エビルが再び基地に襲来した。ソルテックカマンが迎撃つが、パワアップした艦は、かなう相手ではなかった。エビルの前に立ち

はだかつたブレッドも、追い詰められていく。しかしPSVボルテックを受けたブレッドはプラスチックカマンに変化し、一瞬のうちにエビルを撃破する。一瞬のうちにエビルを撃破したDボウイも、また病床で目を覚ますことになる。

もはやDボウイは、ミュキの好きな花さえも忘れていた……。ソードに助けられたエビルは、月面に帰還する。そしてオメガに自分もプラスチック化することを懇願するが、叱咤され、身動きが取れないように監禁されてしまったのであった。

ソードに助けられたエビルは、月面に帰還する。そしてオメガに自分もプラスチック化することを懇願するが、叱咤され、身動きが取れないように監禁されてしまったのであった。

ソードに助けられたエビルは、月面に帰還する。そしてオメガに自分もプラスチック化することを懇願するが、叱咤され、身動きが取れないように監禁されてしまったのであった。

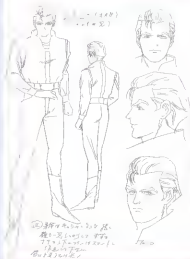
ソードに助けられたエビルは、月面に帰還する。そしてオメガに自分もプラスチック化することを懇願するが、叱咤され、身動きが取れないように監禁されてしまったのであった。

ラダム基地 監獄塔



決定

相羽ケンゴ 設定画



## AIBA KENGO 相羽ケンゴ

混合種族 170年12月11日生まれ。22歳。身長184.5cm 体重83kg。自衛隊A。相羽家の長男。ラダムに取り込まれ、父・母と分離されたことから地球連邦の最高司令官の一人、カマンオメガとなる。あらゆる物事に、あらゆる感情を露にするとはしないが、素直なヤンキーやファンに対しては愛情を隠している様子である。その身体はアルゴス号と融合し知のタム民と一体化しつつある。







## オレは忘れない、例え全てを失っても…

ブルーアース号が復活したことで、世界各地の情報が入手できるようになった。だが、その間にもDボウイの記憶は失われていく。

各地のラダム隊が樹に変化し、軌道エレベーター内の勢力も薄くついている。今が反撃のチャンスと見た防衛軍残存勢力の、オービタルリング奪回のための一大反撃作戦が始まるうとしていた。目標はスペースボートの制圧。その攻撃隊の中にバーナード軍曹の妻、アンジェラの姿があった。

一方、オービタルリングでラダム隊を生み出していたラダムマザーは、ソードの命令で、斬る行動を開始しようとしていた……。軌道エレベーターを通過してオービタルリングに侵入した攻撃隊は、中央コントロールルームに向かっていた。だが、その内部は破壊しつくされている。攻撃隊は、最後に残ったスペースボートに向かった。その途中、アンジェラはDボウイにバーナードの最期の様子を聞こうとしたが、すでにDボウイからは悪人の記憶は消えていたのである。その時、待ち伏せしていたラダムマザーが攻撃隊に襲いかかってきた。勝手にフレッドが捕えられると、アンジェラはバーナードが目を掛けていたDボウイを殺させまいと自爆、ラダムマザーに手傷を負わせる。怒ったフレッドはボルテックを発射して決着をつけようとするが、体内にエネルギーを充滿させていたラダムマザーは大量発射、Dボウイが、気が付くと、仲間たちとは離れ離れになっていた。

ラダムマザー 設定画

ラダムマザー 設定画

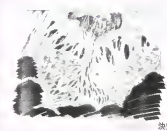
アンジェラ 設定画

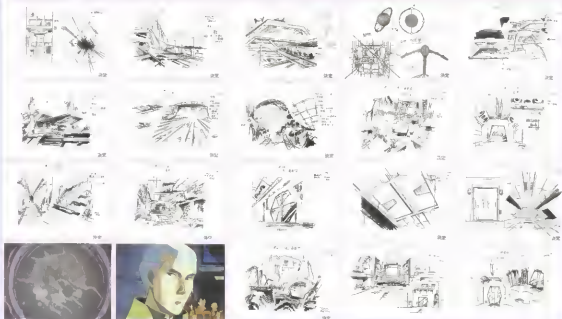
新スペースナイツ基地  
ブルーアース号

ラダムマザーの居住地

アンジェラの部屋

ハンス 設定画





ベガス人力用 キーボード



参考用小型宇宙船画



## 「迫り来る闇」 第44話



## タカヤが戦っている…

Dボウイとベガスは、オービタルリング内で残された第8スペースポートを目標として歩を進めていた。中央コントロールルームでは、スペースナイツが修理復旧に成功。ソルテックマンとアキはリング外に出て、宇宙空間を横切る近道を通過して、Dボウイの後ろを追うのだった。

第8スペースポートでは、ソールドがDボウイを待ち受けながら、思い出しに浸っていた。ソールドと相羽一家は、かつてこのポートから土星へと旅立ったのである。そこによりやくDボウイが到着した。

ソールドと対峙するDボウイだったが、脳裏からはテックセットをする方法がええ湧いていた。ないはずのクリスタルを差し続けるDボウイ。そこにアキたちが追いついた。Dボウイにどうしたもテックセットでさるのかを問われるアキ。このまま堂身させなければ、Dボウイが死なないことを知りつつも、アキは声をベガスに登録させ、自らの掛け声でテックセットさせるのだった。

プレードのボルトテックで、ソールドごとスペースポートは吹っ飛ばしてしまふ。ここから宇宙船を旗立たせるのは、もう不可能になってしまった。

そして戦いを終えたDボウイは、次々に湧いていく自分の記憶に怯えるしかなかった。

その頃、具面の地点に呼び戻されていたソールドは、母艦の最終調整のため、しばしの眠りにつくというオメガの代わりに、ラダムの手招きを受けるのだった。

## タカヤと戦う事がオレのすべてなんだ

## 「真実の侵略者」

第45話

オメガに捕縛されたシンヤは、嫉妬と憎しみを胸に、魂びをあげながらDボウイとの決闘戦を望んでいた。肉体を持たない生命体ラダムは、襲撃のため密り木・人間のいる地球にやって来た。テックシステムは、体力に勝る他の超能力の生命体を取り込むための侵略装置であつたのだ。オメガは、本拠地である宇宙船と一体化する機雷装置に入り、ソードに率いられたダムの軍勢が、最後の総力戦を仕掛けようとしていた。



## 「時の止まった家」

第46話



## Dボウイ、あなたにもいつか救いが...

ラダムの侵襲作戦が開始されるであろう日に備え、全人類をオービタルリング内に移住させる計画が始まった。各回のリーダーを総ていっくスペースナイツ。しかし、ラダムの侵襲作戦を公表すれば、パニックが起きるに違いない。交渉は難航する。

極東方面への移住交渉に赴いたDボウイとアキは、その旅の途中、Dボウイの生家立ち寄る。数年前のことが家の中で、かつての思い出に浸るDボウイ。だが、その行動は、自分を苦しめるだけであつた。突然、Dボウイは家の庭に駆け出し、昔、シンヤが埋めたタイムカプセルを掘り出す。そこに保存されていたレコードには、「僕はずっと兄さんが好きだよ」と語りかける少年時代のシンヤの音が録音されていた。忘却の記憶の淵を彷徨うDボウイは、ラダムへの憎しみを忘れないため、この家を訪れたのだ。何もできないアキは、一人涙を流す。Dボウイは、そんなアキのことを忘れたくないと答けるのだつた。



その頃、オメガに囚われていたシンヤは、ブレードとの命懸けの対決を決定している。シンヤはシンヤを開放し、クリスタルを返す。そしてシンヤは、新たな力を得るため、自らの肉体をプラスタ化すべくテックセットシステムに入る。ソードは、最愛のケンゴを守るため、手戻を選ばないつもりなのだ。過酷な肉親同士の闘い、そして人類最後の決戦の火がたが切られようとしていた。

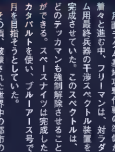
## 「闇と死の運命」

第47話



月面ラダム基地攻撃作戦の準備が整々と進む中、フリーマンは、対ラダム用最終兵器の干渉スペクトル装置を完成させていた。このスペクトルは、どのテフカマンも強制解除させることができる。スペースナイツは完結したカタパルトを使い、ブルーアリス号で月を目指そうとしていた。

その頃、破壊された世界中の都市のあらこちでラダム樹の花が咲き始めていた。事実は、ついに最終局面に突入したのだ。全人類が花に取り込まれる前に、ラダム基地を叩くしかない。ブルーアリス号発進の準備が開始される。同じころ、シンヤは進化に成功していた。そしてテレバシーでDボウイに呼びかけ、オービタルリングにおびき寄せようとしていた。しかしフリーマンは、何も手助けすることができないことを知り、ノアルとバルザックにブルーアリス号で月面への出撃を命じたのだ。だが、それを見逃すテフカマンソードは、飛び立つたブルーアリス号を襲撃。バルザックはソルテカマンの干渉スペクトル機で仕留めようとするが、ソードの執念の前に一緒に道連れとなり、大気圏で燃え尽きるのだった。また、翼を破壊されたブルーアリス号もコントロールを失い、行方不明になってしまった。一方、オービタルリングに到着したDボウイ。果たして、そこにシンヤは待っていた。



## ケンゴのところへは行かせはしない!

「壮烈! エビル死す」

第48話

**Dボウイも相羽タカヤも死んだ…**





## オレと兄さんの戦いを邪魔しないでくれ。

ついにブレードとエビルは、二つの種族の未来を掛けて、勝敗を決する闘いを開始する。兄を尊敬しながらも、越えたかつての弟は、人間であつてもラダムであつても勝つのが運命だつたという。熾烈な闘いを続ける二人にアキは、何もしてやれることが無かつた。一方、地獄では、ラダム樹の花が次々と人間を飲み込んでいた。だがブルーアース号を失つたスペースナイツは、命運をブレードに託すしかない。

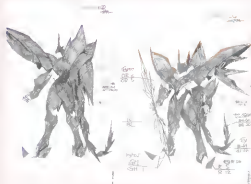
オービタルリングでの戦いで、ついにブレードはタイムリミットを迎える。しかし、エビルはとどめを刺そうとはせず、ロボワイに英気を促すのだった。戦いを再開するのは1時間後。駆け付けたアキは、テックセットを解除したシンヤを発見。しかし、あくまで兄弟の闘いを続けるという二人に、拳銃の引き金を引くことはできなかった。地球を股に掛けた闘いが再開される。互いのホルテッカが炸裂する機軸の中、ついに両者の拳が交錯する。体を刺し貫かれたのはエビルの方だった。テックセットが解除されるシンヤ。エビルの顔から寄生生物のラダムが逃げ出そうとしていた。ブラスタリ化で体に埋葬が来ているシンヤは、兄の腕の中で息絶えようとしていた。自分のクリスタルを差し出すのだった。ラダムを踏み潰し、絶叫するブレード。

止めようとするアキを残し、ブレードはシンヤのクリスタルを使って、月面に旗立つのだつた。すべての戦いを終わらせるために――。





ブラスターエビル 色指定



## BLASTER EVIL

## ブラスターエビル

プラスチック・ソフマンを越えるためフォン・リーによりプラスチック化されたテクノロジーエビの進化系 金魚がさらに刻々しい姿になり 背部のバーニアは大変化され、尾鰭状のディテールでも生成されている。最大の武器・バルゲツカは、プラスチック・ソフマンをも凌駕したかに見えたが プラスチック化の反動も大きく ソフマ自身のかげの境界点を越えさせてしまう。



## ラタム寄生虫

換日帳、(附)



高度に発達した頭脳を持つが、環境の変化や外因性の衝撃に弱いため、侵略者の環境に適応した生命体をデジカマンとし、その肉体に寄生することで新たな生命の拠点に立つ。

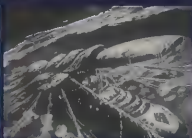
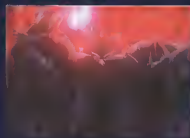


「燃えつきる命」

最終回



神様、どうかDボウイに救いを…





ブレード。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダムの母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

月面の地下から飛び立つた

ラダム母艦に突入するブ

レイド。オメガの持つフロ

## 撃て、レピン!



帰ろう、家へ...



アに飛び込むが、触手にとらえられてしまう。ラダムのもぐはに地球に向かつて移動を始めた。触手を振り切ったブレイドは、母艦と一体となつて巨大化したオメガに、地球の未来を賭けて最後の戦いを挑む。しかし、その力の差は歴然としていた。ボロボロになつていくブレイド。それを救おうとしたバガスもバラバラに破壊されてしまい、クリスタルが飛び散つた。Dボウイはオメガに語り掛ける。「帰ろう、家へ

……」。そして自らのエネルギーを開放するのだつた。激しい爆発と共に消滅する母艦。すべてが碎け散り、地球に静寂となつて降り注ぐのだった。ブレイドも……。地球は復興の真つ最中であつた。生き残つたノアルは、一軒の海辺の家に向かう。そこにはアキと、すべてを忘却したDボウイが静かに暮らしていた。唯一、Dボウイが忘れなかつたのは、愛するアキの名前であつた。



**もし、神がいるのなら彼に与えた救いなのだ。**



















『宇宙の騎士テッカマンブレード』主題歌

## REASON

作詞:安藤芳彦

誰かの 傷ついた心が  
孤独な空で 燃え上がる  
愛を知らない 誰が  
求める 闇に堕された REASON  
Oh Yea... Oh No...

抱きしめながら あなたの気持ちを伝えて  
理由のない 涙がこぼれ落ちる  
愛は 果てしなきバイオレンス  
この世界を 最後の輝きが包む

Ah... 昨日はいらない  
Ah... LET ME SEE THE WAY

忘れるために 遠くを見つめた横顔  
悲しみなど 感じる自由もない  
時は 流れ去る ENDLESS GAME  
今 誰かに 全てを投げ出してみたい

Ah... 理由はいらない  
Ah... LET ME SEE THE WAY  
Ah... 答えは知らない  
Ah... LET ME SEE THE WAY

Ah... 昨日はいらない  
Ah... LET ME SEE THE WAY

Ah... LET ME SEE THE REASON  
Ah... LET ME SEE THE WAY



# エンターテインメントアーカイブシリーズ



エンターテインメントアーカイブ  
マイティジャック  
本体3,182円+税



エンターテインメントアーカイブ  
ミラーマン  
本体2,727円+税



エンターテインメントアーカイブ  
ザ☆ウルトラマン ウルトラマン80  
本体2,778円+税



エンターテインメントアーカイブ  
怪奇大作戦  
本体2,778円+税



オール・ザット・  
ウルトラマンタロウ  
本体2,593円+税

# TEKKAMAN BLADE ANOTHER

その人気から『宇宙の騎士デッカマンブレード』放送当時から、  
CDドラマなどスピンオフ的なオリジナルストーリーも展開され  
ていたが、番組放送終了後、レーザーディスクボックスでは、3  
本の短編アニメが制作され、映像特典として収録された。これら  
は、後にソフト化された際にも収録されている。ここでは、それら  
の短編のために用意された設定画などを紹介する。

## 『TWIN BLOOD』

ラダム樹に侵蝕されず残っていたショッキングモールド、久々の休暇を過ごすDボウイとアキ。  
その二人の前に現れたのは、Dボウイ=相羽タカヤの双子の弟・シンヤだった。Dボウイは、シ  
ンヤがラダムのデッカマンであることを理解し、その場からアキや周囲の人間を逃がすと、フ  
レードとなってシンヤ=エビルとの対決に挑む。



シンヤ



Dボウイ／相羽タカヤ



アキ



TVシリーズとは関連性を持たない、イ  
メージ作品的な短編作品。双子の兄弟の対決  
を新たな解釈で描いたもので、ストーリー的  
には第13話「復讐の兄弟」をインスパイアし  
つつも、デノカマンをより生物感あふれるデ  
ザインでリファインし、独自のイメージで映  
像化している。第48話「壮烈! エビル死す」  
の悪性を取り込みつつも、Dボウイが戦いの  
中で、より戦闘的な意志を見出すなど、過激  
化した演出がTVシリーズとは違う魅力を醸  
し出している。





28 2004  
新アームの  
②



7.0.11



28 2004  
新アームの  
②



7.0.11  
②



7.0.11  
②



28 2004  
新アームの  
②



7.0.11  
②



7.0.11  
②



7.0.11  
②



28 2004  
新アームの  
②



28 2004  
新アームの  
②

②



7.0.11  
②



7.0.11  
②



28 2004  
新アームの  
②



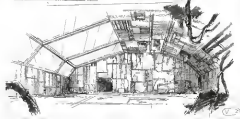
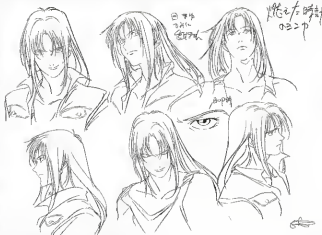
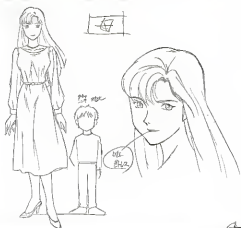
7.0.11  
②



7.0.11  
②

# 『燃えた時計』

オービタルリングで、ブレードとの最終対決に挑み破れたエビル＝シンヤは、死ぬ間際に秘められた過去を思い出していた。ブレードにすぎるアキの姿から母親を思い出すシンヤ。幼少期に自らの過失で火事を起こし、その火事から自分を救って焼死した母を振り返り、それまでの出来事を思う。双子の兄・タカヤへの執着とは何であったのかを。



TVシリーズ第48話「壮烈！エビル死す」のクライマックスで、シンヤの目撃で描いた姉妹。本シリーズでは一切姿を見せなかった母親が登場し、彼女の死がシンヤのトラウマとなったことが判明。兄・タカヤへの嫉妬からくる反抗心など、シンヤの心理の根拠を露にすることで、TVシリーズ全般に深みを与えている。物語の主軸となっていたシンヤの執拗な行動の裏にあったものを、そしてその答えを出す1本である。

## 『MISSING LING』

テッカマンブレードとラダムとの戦いから2年が過ぎ、再びラダムが地球へ侵攻を開始した。記憶を失い、廃人のようなDボウイと暮らすアキの苦悩、新たに迫る強力なラダムの前に、フリーマンは「ET計画」を推し進め、アキが地球製テッカマンとして誕生。しかし、その姿に怯えるDボウイ。暴徒化する素体テッカマンたち。暴走するテッカマンブレード。それを止めるためテッカマン・アキがブレードに挑む。

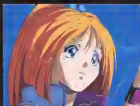


本作は、TVシリーズの続編として企画された物語の予備編として作られた短編。詳細なストーリーも制作当時はネットで公開されていたが、現在は見ることが困難となっている。具体的には、TVシリーズから2年後の世界で、第二次ラダム侵攻に対抗する人類を描き、ラダムのテクノロジィーを使い、地球製テッカマンとしてテッカマンアキが誕生。テッカマンブレードも、新たなラダムの来襲で復活を遂げるが、それ自体が人類の脅威となるといったものであった。

# 連合地球暦2022年、スペーススナイツ再結成。

1994年にリリースされたオリジナルビデオアニメーション作品で、「宇宙の騎士テッカマンブレード」から10年後の世界を描いている。新生したスペーススナイツは、アキをチーフに、テッカマンに変身するダービット、ナターシャとサポートメンバー、メカニックの本田、その下で働いていた少女ユミ、を中心に物語が展開する。1〜3話では、整備士のユミがテッカマンチームに加わり、Dボウイに憧れながらラダムとの戦いに身を投じる青春ストーリーで構成。4〜6話は、テッカマンブレードを超える強さを持つテッカマンデッドが現れ、過去に起こったテッカマン化した民衆の暴動事件が描かれている。





本田の下で働いていた整備士だったが、その愛車をRゴウイが盗じとり、テッカマン候補生となった。やや天然なところがある。

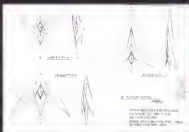


## テッカマンイーベル

ユミが変身するテッカマン。その能力は未知数だが、誤って超能力リアクター・ボールテッカを破壊することになってしまった。



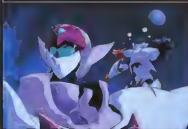
新生スペースナイズの3人がテッカマンに変身するためのクリスタル。それぞれで形状が異なる。



## クリスタル



## テッカマンベスナー



ナターシャが変身するテッカマン。テッカマン候補生において超能力を成績を収めており、本来リアクター・ボールテッカを所蔵予定であった。両親の墓から伴うソードが装備。



## ナターシャ・バブロチワ

母ら気で自虐癖の悪い性格。ダンパーに預けられたユミの性格に寄立つことも。通称は毒妻の父に反発してスペースナイズに。





### ハヤト・カワカミ

スペースナイトズのサポートメンバーで、γ号のパイロット。実直な性格で、ユミに恋いを寄せる。



### アニタ・ブランガン

β号のパイロットで、ダービットのサポートメンバー。同性の女性から慕われる。



### ゴリアテ・バージナル

γ号のパイロットで、ナラージャに恋がある新移民。ハヤトの兄貴分。



### Dボウイ

デッカマンブレイドに化身する。ユミからはDボウイのDはドリームのDと書かれ、「Dさん」と呼ばれる。

### 本田

旧スペースナイトズ時代からの古参兵。メカニックを担当し、ユミを温かい目で見守る。



### テッカマンゾー

ダービットが変身する戦闘力重視のテッカマン。ブーメランのようにも使用できる弓状の武器を持つ。



### ブルーアース号

新生ブルーアース号は「α号」「β号」「γ号」と「マザー機」の4機からなる。α、β、γは、各機のテッカマンのサポートメカとしても活躍する。



### アキ

新生スペースナイトズのチーフで、作戦指揮を執る。状況に応じて、自らもテッカマンアキとなって戦場に赴くこともある。本作で名実が如月であることが判明。



### ダービット・クリューゲル

男性アイドルとして、女性ファンたちに慕われている。その反面、実はアキに一目惚れし、いまだに思い続ける一途な面を持つ。



### ヘガス

アキがデッカマンに化身する際にも使用する。デッカマンの顔には前面が閉じ、アキを収容する。

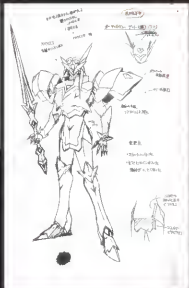
### テッカマンアキ

## デッドエンド

かつてのダム像でデッカマン化した。基体デッカマンの暴動事件「ブラハの黒い9月」の生き残りとして、デッカマンブレードを懐妊。



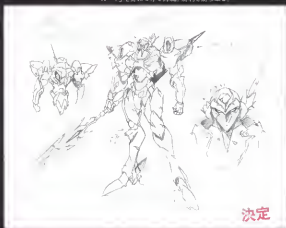
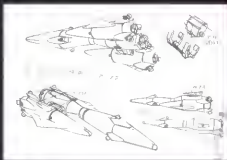
## デッカマンデッド



デッカマンデッドの描像で、一度は固定するものの、事件の解決に際しと特徴を兼ねて、大抵「ゴルテッカ・クラッシュポイント」を身につけて再戦。勝利を勝ち取る。

## 旧ブルーアース号

第4話で、デッカマンデッドと通って暴走した新ブルーアースを追うためにアキが暴発。



決定

デッカマンブレード

## ノアル

ミリー同様、隠微シーンで登場。暴走する軍を止めようとするが、過度激しく反応がブラハへ投下されてしまう。



## ミリー

第5話で「ブラハの黒い9月」事件の隠微シーンで登場。原作の5年後の事件なので22歳になっている。



「宇宙の騎士デッカマンブレード」OV Aシリーズは当初3本の予定であったものが延長され、後期3本が制作された。その内容は、前期3本の明るい青春ストーリーとは異なり、ダイヒツとミッドエンドの戦いを運命が、基体デッカマンたちの暴動「ブラハの黒い9月」事件を中心に展開される。後期にはラダムはほとんど登場せず、無敵とされたブレードを打ち破ったデッドとの対決に主軸が置かれている。旧スペースノイツの活躍も事件の回想シーンで登場している。



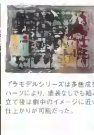
# TEKKAMAN BLADE VINTAGE

番組放送時に発売されていた

『宇宙の騎士テッカマンブレード』アイテムの一部を紹介する。

## プラモデル

1992年4月よりバンダイ・ホビー事業部（現・BANDAI SPIRITS）より発売が開始されたプラモデルシリーズ。16スケールで統一された本巻の4種が発売された。最初は同スケールの「ベガス」も発売が予定されていたが、キット化されることはなかった。また、「B-CLUB」ブランドでダーク・ベガスも展開され「ダーク」「アークス」「ランス」「ソート」「レイピア」がプラモデルシリーズで商品化。1/8スケールでも「ブレード」「アキ」「ミユキ」も発売されている。また「ソルター・カマン・バルザ」がカスタム「ファスター・エビル」改造パーツも同シリーズから出ている。一度は製品化が見送られた「ベガス」も、ソフビ製カレージキットとして様式されたが、ついに発売に至らなかった。



B-CLUB製カレージキットは、ウレタン樹脂成形の非金属材料でモデルで、上級者向けのキットで高い技術が必要とされた。

プラモデルシリーズは多色成型パーツにより、塗装なしでも組み立て後は劇中のイメージに近い仕上がりが可能だった。

## 食玩

「宇宙の騎士デ・カマンブレード」の立体物は、プラモデル系以外では最も数多く発売された。「宇宙の騎士デ・カマンブレードチョコスナック」のオマケくらしが存在しなかった。それらは「デ・カマンブレード」として、一部の店舗で限定発売された。約5cmの組み立てモデルで「ブレード」「ダーク」「ベガス」「ベガス飛行形態」「フォルムアース」「タムラ」がラインナップされていた。中には数回パーツがメッキ仕様のものでレアアイテム的に存在していた。

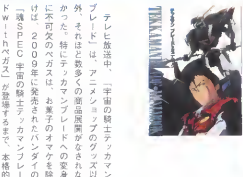


## ゲームソフト

放送中に、ヘンクからスーパーファミコン用ソフトと、ユタカからゲームボーイ用ソフトが発売されている。共にスクロール型のアクションゲームで、ファミコンやデ・カマンと対戦をプレイできた。



テレビ放送中、「宇宙の騎士デ・カマンブレード」は、アニメーションのグッズ以外、それほど数多くの商品展開がなされなかった。特にデ・カマンブレードへの愛身に不可欠のベガスは、お菓子のオマケを除けば、2009年に発売されたバンダイの「魂 SPEC 宇宙の騎士デ・カマンブレード」で、ベガスが登場するまで、本格的な商品化がなされなかった。近年、バンダイ製「アーミーブレード」や、マックスファクトリー製「1/8mm」で、「宇宙の騎士デ・カマンブレード」のデ・カマンたちがフィギュアとして登場しているが、今現在「デ・カマンオマケ」だけは残念ながら立体化がなされていない。



## 出版物

放送中に発売されたのは、ムービングのコミックが少なかった。放送に合わせた「月刊コミックコンパス」誌上で連載されていた。TVシリーズと違う独自の展開を見せて、鈴木典孝氏によるコミカライズは、1994年に放送されてメディアワークスよりコミック化されている。

# 『宇宙の騎士テッカマンブレード』 奮戦インタビュー

プロデューサー

## 植田もとき

当時、タツノコプロのプロデューサーとして手腕を奮った  
植田氏に如何にして『宇宙の騎士テッカマンブレード』が誕生したのかを伺う。



宇宙の騎士テノカマンフレッド（以下「フレッド」）の企画で、同じ時間帯で放送された「天空戦記シュラト」（1989年11月9日放送、全3話）から携わっており、そして「キャノン」で活躍して（1990年11月9日放送、全54話）と続き、その後1年間是他社による制作の作品を挟んで、再びタツノコプロ制作の企画となり、本企画がスタートしました。大抵の事情ではありましたが、この放送時間枠というのがスポンサーであるバンダイ、ホビージャパン（現・BANDAI SPIRITS）さん

が「現・BANDAI SPIRITS」さんです。そしてメインスポンサーだった中で、少しづつ知名度の高い作品を望まねばならぬ、タツノコプロが版權を持つ過去から「宇宙の騎士テノカマン」を選んで企画を進めました。

なぜ「宇宙の騎士テノカマン」だったのでしょうか？

植田「科学忍者隊ガッチャマン」などもあったのですが、いろいろと模範にしたい面もあり、テノカマンを選んで行きました。もちろん、単純に私自身がテノカマンが好きであったこともあるんですが（笑）。

「ストーリーや設定はどのように作られたのでしょうか？」

植田「基本的には原作となった『宇宙の騎士テノカマン』で描いた路線を残す形で、宇宙からの侵略者と、軍隊ではなく、特殊チームが戦うストーリーで考えていきました。一つのチャレンジとしては、ロボットにミラリ（1979年・1980年放送、全4話、サンライズ作品）がリアルな世界観を作った成功している例を見て、華身大いローで成功したリアルな世界観を持たせた作品はなかったことに気づいて、『機動戦士ガンダム』の作り方を意識しつつ、タツノコプロ路線らしいものを目指していったんです。軍隊

物にしたのはなかったもので、元となっている『宇宙の騎士テノカマン』のテノカマンというのが、宇宙空間で一人現役に侵略者と戦っているイメージが強かったの、特殊部隊くらしい規模で展開させようというストーリーを練っていました。

また、世界観設定でも『機動戦士ガンダム』で印象的だったスペースコロニーに対抗するようなものということで『オービタルリングシステム』というものを作り出したりして、そこが計算するような形で物語を構築して、そこが設定です。

主人公の顔が全て親類という設定は？

植田「主人公の家族が敵になるというのは、ある程度最初から決まっていた。以前手掛けた『天空戦記シュラト』で、主人公が親友たちと戦うという構図が人気となったので、単純に次は兄弟で行こうという狙いがありました。『天空戦記シュラト』からの共通点として、人気のあった主人公の敵・ガイの声が子安武人さんで、シュラトが白と赤をデザインに取り入れ、ガイが黒と赤でまともなれている点など『フレッド』でもやっているんです（笑）。

「天空戦記シュラト」は女性人気が高かったんですよね

植田「そうですね、本当はプラモデルがたくさん売れないといけなかったんですが、なかなか難しい結果でした。そこで『フレッド』では、その点をきちんと意識して、男性向けのSF作品として作っていました。女子ウケする要素は、テノカマンエビルシンヤくという他はもういらないかなと。

印象的な最終回でしたね

植田「詳しくは覚えていませんが、最後をどうするかというのはいくつか決まっていたような気がします。少なくとも、主人公の口ホイが魔人のようになってしまふことは、最初の段階では決まっていた。放映回数が多いので、主人公にどう変化をつけ

ていくのかについては、シリーズ構成の関島眞郷さんが、環境の変化に伴い口ホイの記憶が壊れ始めるというアイデアを出されて、結果に結びついていきました。

制作に入る時点で苦労された点は？

植田「一番苦労したのは、やはり新しいテノカマンを決めるのが大変でした。最初は、出湖裕之さんにデザインをお願いしたのですが、なかなか忙しかったようで、なんと2〜3校デザインラフを描いてもらったんですが、それ以上どうにもならなくて、それで、お弟子さん筋にあたる佐山肇副さんをご紹介していただき、当時はまだそれほど有名な方ではありましたが、デザインラフをお願いしました。その時に「この人で行けるな」と確信したんです。ただそのあと、スポンサーなどの関係各所の合意を得るのに時間がかかってしまったので、一度コンペをすることにしました。知人のアニメーターやメカデザイナーに頼んで十数体で作った会議室に貼り付け、「今日決めないと間に合いません」とか言った覚えがあります（笑）。そこで最終的に

に選ばれた佐山さんで行くことに決定、出来たんです。

キャラクターデザインについては？

植田「佐野浩敏さんで行こうという話がある程度決まっていたのですが、結果忙しい状態で2〜3人描くくらいしか出来ないということで、現場周りをお願いするはずだった湖川友謙さんに他のキャラクターデザインをお願いすることになったんです。佐野さんの描かれる絵柄とは世界観が違いますが、その辺は作画監督さんに統一してもらえばいいかなとね（苦笑）。

湖川さんはキャラクターデザインでは名義を変えられていました

植田「湖川さんはあの頃から匿名を使われることが多くなってしまったよね。もともとタツノコプロにいらした方なので、なぜか名前が出ないようにならなくてましたね。それでクレジットでは「Ollie」さんでした。作面に限らず、最初は「俺が全部見るぞ」ということを言ってくれていま





——メカニクに関してはスポンサーサイトの要望がありましたか？

植田 もちろんありました。けれど、アニメの現場にある程度裁量を持たせた方が面白いものが出来ることをご存じの方がバンドイさん側にもおられますね。あまり余計な口出しはなかったです。商品化に関わる部分などは当然相談しながら進めていきましたから。覚えてるのは、ソルテカマンですね。テッカンと言っても、フレイトとは違う系列なので、デザインでどこまでメカニクらしく見せるかなど、いろいろとやり取りしていま

したね。

——商品化といえは、当時告知されたベカスが結局発売されませんでしたか？

植田 ロボットの中にロボット（フレード）が入ってるという画期的な商品だったんですけどね（苦笑）。劇中のベカスに関しては、シリーズの途中で、ベカスに歌を歌わせるアイディアを脚本家の川崎とロウキさんが出してくれたりして、あの辺りからベカスへの感情移入が高まっていったのですが、結局変身のための装置としてしか活躍出来なかった。最終回でようやく長いところを見せられ「泣

ける」とファンが驚いてくれたとったので面目躍如はできたかなと思うんですが、（笑）。

そういえば、バンドイさんが予算を出してくれて、当時宣伝用にフレードのリアルサイズの瀬ぐるみも作られましたよ。品田 冬樹さんという造形家おられて、バンドイさんが驚いてくれたんです。その出来が素晴らしいだったんですけど、頑張りすぎて予算オーバーだったらしくて、（苦笑）。テレビ東京の5分間の宣伝番組とかに出たりしてましたよ。

——設定協力でクレシノトされている結城二十六太という方は？

植田 謎の男ですよ（笑）。実は彼は太学の後輩で、「オービタルリングシステム」は彼の着想なんです。彼は、漫画家でコンセプトデザインを考えるのが好きだったので、一緒に様々なアイディアを考えました。最初は、単純に発射台みたいなものから始まった

んですが、「なにが笑えるくらい思い切ったものないかな？」ということから、科学の論文みたいな本に載っていた地球の周りを一周する1本線に軌道エレベーターの線が引かれているだけという、ボンチ絵的な説明図を見つけてきたところから「オービタルリングシステム」の発想につながったんです。

——参加されたスタッフについては

植田 早くから参加を表明してくれた板野一郎さんや泰祖を観て途中から参加してくれた工藤しげきさんら、当時はスタッフ集めに苦労していたので助かりました。さらに、プラスチックカマンの変身シーンを担当された中村直さん、室井聖人氏で作画監督で参加されたさとうけいいちさんと、今では一





流の業界人に参加いただけたことが、「フレイト」をやっていた本当に良かったと思っていますし、何よりもメカデザイナーの佐山善則さんとの出会いは私にとってもの宝だと思っています。その点でも出淵裕さんに感謝しています。

——余談ですが、続編OVAがTVシリーズとは趣の異なる作風になりましたが

植田 実はその前に、前作とつながるもう一本話があったんですが、ソフトウェアさんの都合で頓挫してしまっただけですね。そこで、その会社を見送そうと躍起になってウケ線狙いの内容にしたのが「宇宙の騎士テッキカマンブレードⅡ」だったんです。あそこまで路線変更して、皆さんどう思うのが不安でしたが、中には「Ⅱ」の方が好きと言ってくださる方も結構おられて嬉しかったですね。

最後に

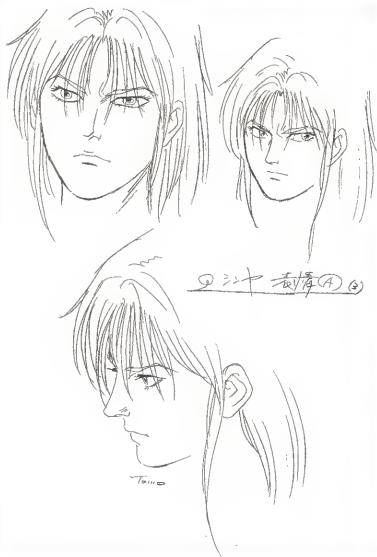
植田 放送が終わってから10年くらい経った頃かな？ 当時、監督を務めてもらったねぎしさんと一緒にやっていた会社に、CGチームの若いスタッフが「ブレード」が好きで、植田さんとねぎしさんの会社だから」と言って入ってきたりしてくれました。CG世代の中には、結構この作品が好きだった人たちが多かったらしく、本当にありがたいと思いました。当時は、ファンサービスもあまりせず、自分たちの好きなように作っていたにも関わらず、大ヒットまでは行かないまでも今持っていて好きですって言ってくれるファンがいてくれるのは、本当にありがたいと思っています。

## PROFILE

うえだもととき●1960年3月26日生まれ。プロデューサー。タツノコプロを経て、1996年ラディウス、その後フリー。手がけた主なアニメ作品は『実空戦記シュウト』、『キャー! 覚悟してやんてえ』、『新世紀エヴァンゲリオン』(TV)、『タノコプロ制作』OVA『サクラ大戦 リリース』TV『時空転抄ナスカ』『ダイバージェンス・イヴ』など多数。

# 今風に『宇宙の騎士テツカマン』をリメイクするって話くらいしか聞いてないと思う。

数多の人気アニメのキャラクターデザインを務めたベテラン・アニメーションクリエーター・湖川友謙氏。  
『宇宙の騎士テツカマンフレード』でも、キャラクターデザイン（T.O.川O名義）、  
作画コーディネーターを担当された氏から、当時の思いを訊く。



## 湖川友謙 インタビュー

宇宙の騎士 テツカマン フレード

よな形 参加された。一ヶ月

湖川 もともと監督やつてくれないかという  
ことで話を聞いていました。ところが、呼ば  
れて行ってみたら、監督もお願ひしたいのだ  
けれど画も描いてほしいという話になって  
。良くはわからないのだけれど、もしかし  
たら、ぬぎしひろし君とかが裏で監督に決  
まっていたりしていたのかもしれない。裏の  
事情だね。

作画 根拠も聞きたい。一ヶ月

湖川 それすら決まっていなかったんじゃない  
かな。

製作 参加は、オ、も、ノ、時、

は、ア、行、度、ノ、カ、マ、ン、

り。

湖川 今風に『宇宙の騎士テツカマン』をリ  
メイクするって話くらいしか聞いてないと思  
う。まして、まったく新しい作品にすると  
は聞いていなかったような気がする。

同作とは異なる。時、油、ノ、

作品、まる、

湖川 詳しい話はしていませんが、時代に合  
わせるとか『宇宙の騎士テツカマン』をどう





# 『宇宙の騎士テッカマン』の デザインを知らなかったんです。

テッカマンブレードのデザインを手掛け、既成の概念にとられない新たなヒーロー像をデザインしたメカデザイナー・佐山善則氏に、当時の思いを聞く。

佐山善則  
インタビュー



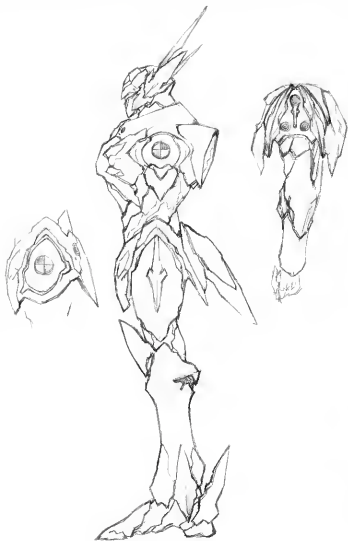
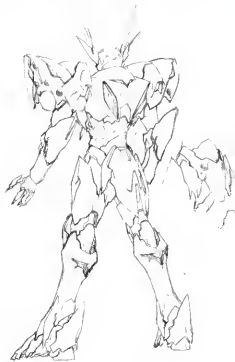
毎年 玩具メーカーに依頼されて描かれたリファイン版テッカマンブレード。佳しくも商品化は果たさなかったが、現在ではブルーレイボックスのパッケージで堪能することが出来る。

——宇宙の騎士テッカマンブレード」に関  
わることになった経緯は？

**佐山** 元々は企画からデザイナーの出淵裕さ  
んが関わられていて、ある日こちらに連絡が  
来て「ちょっと手伝って欲しいものがあるん  
だけ」との事で打ち合わせに行くと、同席  
されていたプロデューサーの横田さんにお会  
いして話を聞くことになりました。そこで、  
「宇宙の騎士テッカマンブレード」(当時  
は「宇宙の騎士テッカマンサイバー」の名称  
だった。)をスポンサーである模型メーカー  
のバンダイ・ホビー事業部さんにプレゼンす  
る提案材料を用意するにあたり、何故か手伝  
いで同席したはずの自分が出淵さんのラフ画  
を元にメカ風と中世風の2パターンのアレ  
ンジデザインを作ることになりました。さら  
に、バリエーションとして敵側のテッカマン  
も何体か用意するという方向になったので、  
わかりやすく丸三角四角の特徴的なシルエ  
ットをコンセプトに、打ち合わせ通りに出淵さ  
ん宅にて短時間でアイディアを出し合っ  
てそろえた「サインが、後々のテッカマンダー  
やアックス、ランスやソードの原型になっ  
ていきました。その後、プレゼンの結果から、  
テッカマンブレードはメカ風のデザインが採  
用されて、出淵さんから「後はよろしくー  
(笑)」と背中を押された、「宇宙の騎士  
テッカマンブレード」でメカデザインを担当  
させていただくことになりました。

——デザイナーとして入られる時はどのよう  
な状況だったんでしょうか？

**佐山** 最初にプレゼンした時に、僕の描いた  
テッカマンブレードのメカ風デザインを見た  
バンダイさん側の反応は、「足の細いロボット  
は強そうに見えない」と、このデザインが  
売れるかどうか判断を決めかねていたよう  
です。そこで再び十数人のデザイナーを集めて  
のコンペが行われたのですが、最終的に幸運  
にも自分のデザインが採用となりました。デ  
ザイン期間が短いこともあり、僕一人でデ





逆光は  
ホコリで  
ぬく

逆光は  
ホコリで  
ぬく

逆光は  
ホコリで  
ぬく

イン全盛をこなすことは難しかったので、中  
腰れいさんに入っていたく条件でメカデザ  
インを引き受けました。分担としてはフル  
アース母を含めた地球側のメカを中腰さんに  
お願いする形となっています。

中腰さんとは「宇宙の騎士デカマンフ  
レー」のころから知っていました。

**佐山** 実は「宇宙の騎士デカマンフ  
レー」に参加する前に、この業界に入ったはカ  
リりの頃から中腰さんとは出版関係でお会い  
する機会があり、それ以降、仕事以外のこ  
ろで会うことが多く、「宇宙の騎士デカ  
マンフレー」に参加する頃にはよく知る仲  
だつたのもあって応援を頼む形になつたので  
すが、ラダム側が僕で、地球側が中腰さん  
といった感じで作業をしていたはずが、気付く  
とラダム側のデザインは中腰さんがされてい  
たりもしましたね（笑）

デカマンフレーをデザインするに当  
りこの苦労された点は？

**佐山** そもそも僕自身が、原作である「宇宙  
の騎士デカマンフレー」を放送していた頃はアニ  
メ番組をあまり観ておらず、デカマンのデ  
ザイン自体を知らなかったんです。それをア  
ロテューサーの植田さんに話したところ、  
「この際だから、あえて見ないで進めてみ  
て」という提案があり、「目が細くて、胸に  
Xラインがあって、騎士のような姿」という  
印象だけを伝えられて作業をする事になりま  
した。出湖さんの描いた企画時のアレシラ  
フを参考にしつつバランスを変えて行つたの  
ですが、体型に関しては悩む部分も多くて、  
当時スポンサーさん側には「等身大ヒーロー  
は売れない」と言うジレンマもあったよう  
なので、あえて普通の体型に装甲服を纏せたシ  
ルエットからは離れて、着身含めて思い切り  
ロボット体型に振ってしまおうと。そこ  
で、そのつじつまを合わせるために変身時に  
内骨格から外骨格に骨組み自体が変化する  
という設定を加えて仕上げました。



# 宇宙駆ける騎士を彩る交響音楽

32年後に聴くテッカマンブレード

早川 優

「宇宙の騎士テッカマンブレード」の放映から四半世紀強の時間が経った。当時、スターチャイルドからリリースされたサウンド・トラック・アルバムに楽曲構成等の仕事で関わらせていただいた筆者としては、本日に昨日のこのように思われる。本稿では「テッカマンブレード」の背景音楽のすべてを作曲した和田薫さんにご登場いただき、約30年前の当手を振り返っていた。

和田 薫

Kaoru Wada



タツノコプロのクラシックの1作「宇宙の騎士テッカマン」をヘースにした（今流の言葉でいえばリブートか）「宇宙の騎士テッカマンブレード」には、ハードな素間のSF宇宙アクション作品にふさわしく、当時のアニメーション界に彗星のように現れた新鋭作曲家、和田薫によって、スケール感豊かな管弦楽曲を中心にした音楽が附けられている。

「作曲にあたっては、オリジナルの『宇宙の騎士テッカマン』の音楽は意識しないといけないことでした。二つの作品には直接的なつながりはないですから、と、もちろん、僕もオリジナルの「テッカマン」は観ていました。音楽もよく知っていましたけれど」

和田薫は山口県下関市生まれの作曲家。17歳の頃より独学で音楽を学び、1981年に東京音楽大学へ入学。作曲を伊藤雄之助氏に師事する。1989年から映画・テレビなどへの音楽提供を開始。1992年には自らの音楽事務所「東京音楽工房」を設立し、舞台・放送・レコードなどの総合プロデュースを展開する。その後の活躍は多岐にわたる。「金田一少年の事件簿」「大夜叉」「D.Gray-man」ほかのアニメーション、「キングダム ハート」に代表されるゲーム音楽。そし

て、第1作「コジラ」を筆頭とするシネマコンサートのための編曲、指揮など枚挙に暇がない。本作品「テッカマンブレード」は、和田にとって商業音楽の初期に仕事にあたり、テレビアニメーション「RPG伝説ヘポイ」（1990年）、オリジナル・ビデオ・アニメ「英雄伝伝モザイク」（1991年）など、大編成のオーケストラ・サウンドが特徴的な作品群の流れを汲むものとなっている。「アニメーション商業音楽のそもそものデビューは、『黒猫フルハウス』です。これは打ち込みなどを使った軽いものでしたが、「ヘポイ」の時にフルブレイクゲームを題材にしたものということで、交響曲のような大きなオーケストラ・サウンドを求められたんです。僕がフルオケで純音楽を書いていることを知っているプロデューサーの片岡義朗さんから、M1、M2みたいな小さい曲ではなく、大きな楽曲を作って、その中から楽曲であっていくのはどうでしょう、ということだったので。『モザイク』は製作元が解散して一旦お蔵入りしていた作品だったんですが、これも特殊な経緯を交えたオーケストラ曲。そうした仕事が続いていたことでキングレコードの大月俊倫さんのお耳にとまり、

「テッカマンブレード」などの仕事につな  
がついていってんだ。」

「テッカマンブレード」では、スペースス  
イフのテーマ音楽やテッカマンの活躍シー  
ンの楽曲など、主要曲がフルオーケストラ  
の大編成で書かれた。合唱入りの曲もあり、  
作品の壮大なスケールの世界的表現に役  
買った。

「オーケストラはフル編成です。木管4本、  
ホルン、トランペット、トロンボーンが3本  
ずつにチューバ、ハープとパーカッションが  
ごっそり入って。鼓楽器は8型（第1ヴァイ  
オリンが8台）はいいと思います。それ  
からシンセですね。スタジオは当時、光文  
社ビルの上にあったキングレコードのスタ  
ジオです。録音師の指揮に関しては、今は自分  
自身で行なっていたんですが、この当時は船島公  
二さんにお預けしていました。「テッカマン  
ブレード」も船島さんです。」

その一方で、主人公ロウウィラの心情表  
現、宇宙生命体ドラム組みのサスペンス曲、  
比較的軽めのアクション音楽など、シンセサ  
イザーの打ち込みを中心とした小編成の音楽  
群も存在する。

「小編成のものシンセに関しては、自分の器  
材をスタジオへ持ち込んで仕上げた記憶があ  
ります。録音は2回行なっていて、それ  
ぞれ大編成と的小编成の曲を組み合わせてい  
ました。」

音楽の録音メニューを作成したのは、音響  
監督の田中実行。1970年代からキャリア  
を積んだベテランである。

「今だから言えますが、当時の録音メニ  
ューとは異なっていてシンプルで濃密として  
いるのが常でした。戦闘のA B C Dとか、これは  
どう連たいいんだろ、と思いつながら曲  
作りをしましたよ。」

テレビ番組用の音楽ではライブラリーとし  
て適切に選曲用の音楽を大量に録音するの  
が常。「テッカマンブレード」でも最終的な楽

曲数は100を超えた、と田中は語る。

「最初の仕事はOVAでしたので、作曲はい  
わゆるフィリング、スコアリング（画面の尺に  
合わせて音楽を作曲、録音する方法）だっ  
たんです。でも、テレビシリーズだと録り  
でしょう。テレビ、アニメの音楽を作るの  
って、初めは大変なんだ、という洗礼を受け  
た最初の作品ですね。「テッカマンブレ  
ード」は（笑）」

こうして作られた「テッカマンブレード」  
の音楽は、オーケストラ曲と電子音楽ア  
プローチによるもの2段階構成。これは国  
際的に、SF映画音楽方法論の二大潮流と合  
致することになった。すなわち、「スター  
ウオーズ」に代表される王道の管弦楽サウ  
ンド、それを覆る「怪獣の惑星」他における  
電子音楽のアプローチの系統である。

そうして、和田薫による本作のオーケス  
トラとエレクトロニック・スコアは、「テッ  
カマンブレード」を彩る音楽の二本柱の最  
後の一つ、女性ブローカルをフィーチャー  
したコトコテのロマンチックな主題歌が加わる  
ことで、完璧な音楽のトライアングルを形  
成した。第1主題歌の「REAASON」を筆  
頭に、番組のテーマ曲とエンディングを  
結んだ4曲は、すべてが小坂由美子の作曲と  
歌唱によるもの。彼女にとってデビュー曲と  
なった「REAASON」は、涙腺で先鋭的な  
ガールズ・ロックに仕上げられており、作品  
の世界観とのマッチングも申し分のないもの  
だった。

さて、和田薫の「テッカマンブレード」の  
音楽には、とっておきの秘訣が存在する。実  
はサントラにも収録されたテッカマンのテッ  
クセッターから活躍に至る場面を想定して書  
かれた音楽の一部が、録音とトラックダウン  
を終えた後にあって、若千シオン・ウィリア  
ムズの「スーパーマン」を想起させる部分が  
あるということ、直前にあってそのパート  
をオミット、すべてお蔵入りさせるという処

置が採られたのである。その結果、その楽曲  
の該当パートに関してはサントラにも収録  
されず、番組にも一切使われることはなかつ  
た。

「まだ絵を見る前に田中さんからいただいた  
メニューに沿って作曲したわけですが、「D  
ボウイがテッカマンに変わって、カウコに  
飛んでいく」というようなイメージを頭に描  
いたことで、結果的にちやつとジョン・ウィ  
リアムズに引きずられてしまったのかもしれ  
ませんね（笑）。自分としては、そこまで似  
ているとは思わなかったんですが、安全策を  
探ってお蔵入りさせました。その曲は音楽メ  
ニューとしては2部構成になっていて、最初  
は暗く重い感じで、後半でト・ロとして活  
躍することを表現するということでしたので  
、後半を完全にカットしたわけですね。」

これら「テッカマンブレード」の音楽を取  
めたCDアルバムは全部で3枚。すべてキン  
グレコードのスターチャイルド・レーベルか  
ら発売された。

最初には純粋な音楽集「宇宙の騎士テッカマ  
ンブレード オリジナル・サウンドトラック」  
（KICA108）で、1992年5月2日  
の発売。

続いて、第1回録音の未収録曲とドラマ、  
挿入歌を収録した「宇宙の騎士テッカマンブ  
レード Space Knights」（KIC  
A119）が同年10月7日にリリース。

3rdアルバムは、追加録音曲をメインに  
振えた音楽集「宇宙の騎士テッカマンブレ  
ード Blue Blue my love uuu  
a blue」（KICA142）で、1993年  
2月5日の発売となっている。

後者2枚のアルバムでは、川井憲次が作  
曲を担当し、石原真一が熱唱した、ヒロイン  
クを挿入歌「過激な戦士」（2nd収録）と  
「虚空の翼」（3rd収録）という、知る人  
ぞ知る名曲が聞かれる。

「テッカマンブレード」のために作られた

主要な音楽は上記3枚である程度網羅され  
ているものの、まだ未収録曲は残されている  
と和田は語る。

「未収録曲は大量にあるはずですよ。とい  
ますが、実は番組でも使われずにお蔵入り  
少年から存在するんですよ。」

30年近い時を経て、そろそろ「テッカマ  
ンブレード」の音楽集も完全盤として、再評  
価・再発掘されるタイミングを迎えているの  
ではないだろうか。先にお蔵入りのテッカ  
マンのテーマ音楽を紹介したいが、川井憲次  
による2曲の挿入歌にも実は未発表ヴァージ  
ョンが存在する。それらがまとめて発表され  
る時が遠からず訪れることを筆者は信じてい  
る。

最後に本誌を手にとられているテッカマ  
ンブレードファンの方さんへの和田薫からの  
メッセージ。

「長い間ファンの方さんに愛される作品に携  
われて光榮です。「テッカマンブレード」は  
海外にも知ってくださる方が多いことにも驚  
かれます。日本のアニメーションの底力を  
感じさせられる、総合力の高い作品だと思  
います。今後、30年を越えて40年、50年と人の  
記憶に残っていくことでしょ。それから  
スタッフの一人として、これ以上の喜びはあ  
りません」



「テッカマンブレード」のCDアルバムは全  
部3枚発売された。最初に当たる「宇宙の騎  
士テッカマンブレード オリジナル・サウ  
ンドトラック」はスタンダードな音楽集で1992年  
5月2日に発売。

# TEKKAMAN BLADE NOW

宇宙の騎士テッカマンブレード最新情報

ここからは、2020年春現在入手可能な「宇宙の騎士テッカマンブレード」関連アイテムを紹介。現状では、アクションフィギュア関連がホビーメーカーの「エヴォリューション・トイ」より発売中で、「千億線」からも発売予定になっている。

エヴォリューション・トイ

劇中登場のテッカマンたちを  
アクションフィギュアでコレクタブルに展開。

2019年秋より、全高約12cmほどの大きさでシリーズ展開中のアクショントイで各テッカマンをラインナップ。コレクションサイズのアクションフィギュア「ヒーローアクションフィギュアミニ」シリーズとして、各登場可動のほか、それぞれの武具も付属。ブレードは、ボルテッカー発射形態も再現可能だ。現在まで「ブレード」「エビル」「ダガー」の3点が各4,400円で発売中。以降、各テッカマンたちも順次企画中なので、全テッカマンの商品化を期待したい。各4,000円（税込）



テッカマンブレード



テッカマンエビル



テッカマンダガー

## これから発売予定のラインナップ

現在商品化企画進行中のテッカマンたち。写真は彩色監修中のものだが、そのクオリティに驚かすにはいられないだろう。



テッカマンソード



テッカマンレイビア



ソルテッカマン改



ソルテッカマン2号機  
(ノーマル機)



ソルテッカマン1号機  
(リザガ機)



千値練

# 独自のデザイン解釈でアレンジされた 本格アクションフィギュア。

海外でも定評のある千値練が、昨年のイベントなどで発表し話題になっているR10BOTシリーズのデッサンカマンブレード。マッシュで力強いプロポーションが、これまでの立体物と一線を画したものに仕上がっている。

海外でも定評のある千値練が、昨年のイベントなどで発表し話題になっているR10BOTシリーズのデッサンカマンブレード。マッシュで力強いプロポーションが、これまでの立体物と一線を画したものに仕上がっている。



ボルト式の発射機構も再現可能。ボリューム感あるプロポーションと相まって、迫力のアクションポーズが取れる。



15800円(税別)

NEKO MOOK 2956

エンターテインメント アーカイブ



発行人 白方隆文  
編集人 澤村 信  
企画 構成 執筆 中村宏治  
特別寄稿 早川 優  
ストーリー原稿 真田けいた  
デザイン 越上悠和 (msh)  
協力 株式会社創造・株式会社タツノコプロ  
編集協力 有隣会社リワークス  
広告部 門内文明  
編集 藤原隆史  
監修 鎌田洋成  
編集 菊田智博  
原田大樹  
村川卓司  
監修 堀島幸徳  
生産管理 北原山幸  
責任者 菅下善人

発行 株式会社イコ ハブリッジ  
〒141-8201  
東京都品川区上大崎3-1-1  
西武セントラルスクエア  
03-5745-7824 (編集部)  
04-2944-4071 (カスタマーセンター)

印刷 中央精版印刷株式会社

Printed in Japan

凡丁 訂正がございましたら 上記カスタマーセンターまで  
ご連絡くださるようお願いいたします。

©創造・タツノコプロ

© 2020 NEKO PUBLISHING CO., LTD  
ネコ・パブリッシング・ホームページ  
URL <https://www.neko.co.jp/>



復刻

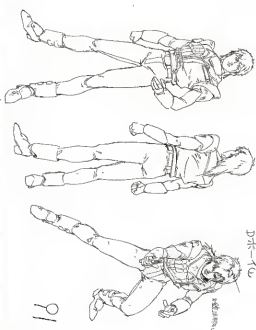
# 宇宙の騎士テツカンゾーレード

## 設定資料集

「宇宙の騎士テツカンゾーレード」放送当時の気分を味わっていただくために、1990年代に流行っていた設定資料集をテツカンゾーレードの資料をもとに復刻。メインキャラたちの設定画をご堪能あれ。



宇宙の騎士  
テツカンゾーレード  
設定資料集



テツカンゾーレード

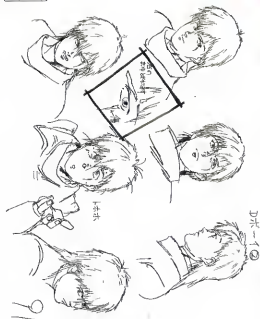
8/1

決定

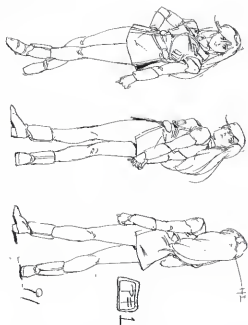


テツカンゾーレード

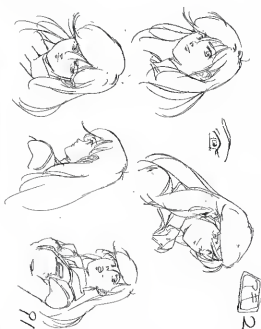
決定



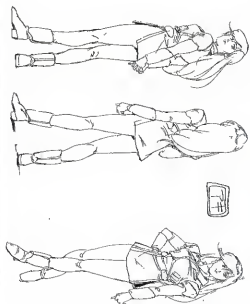
決定

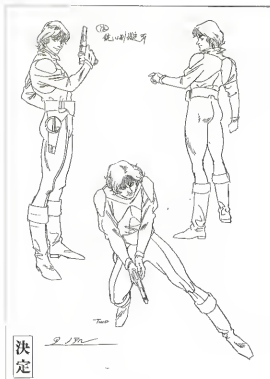


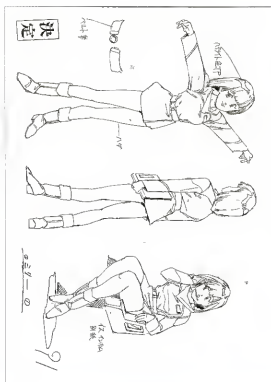
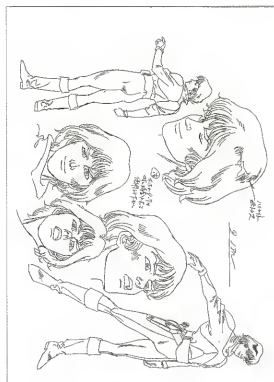
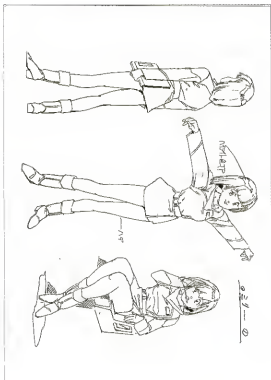
決定

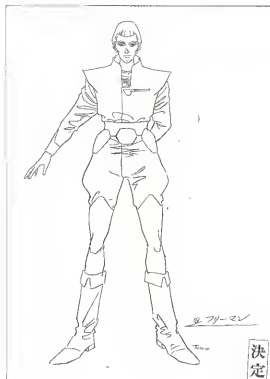


91

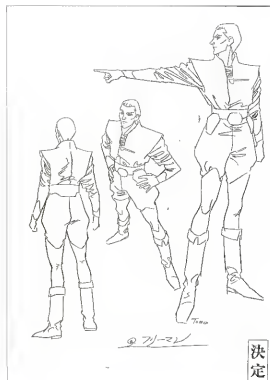
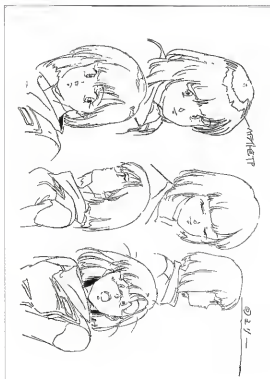




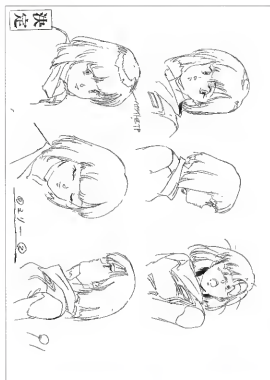




決定

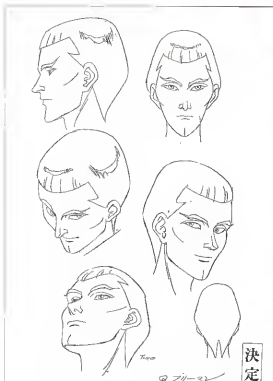
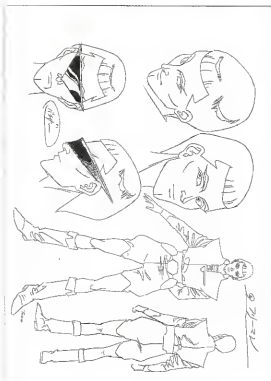


決定



決定

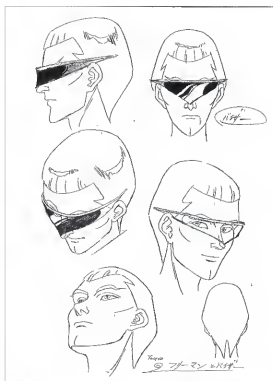


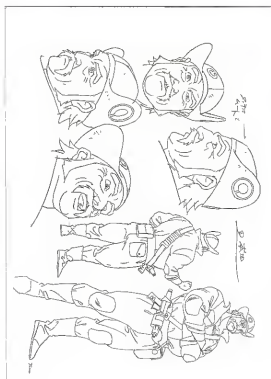


決定



決定

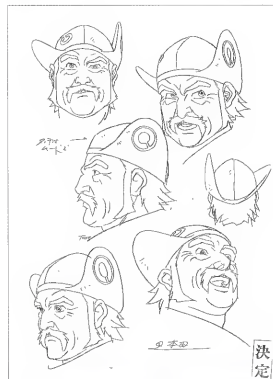




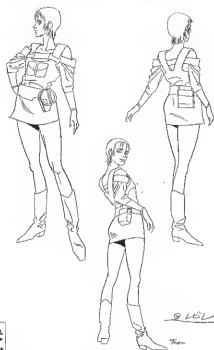
決定



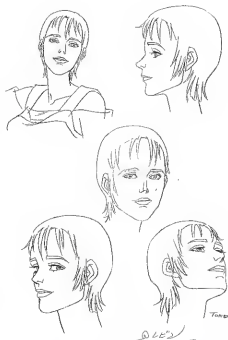
決定



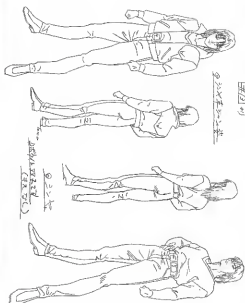
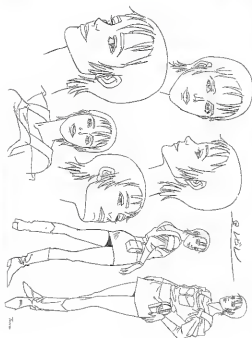
決定

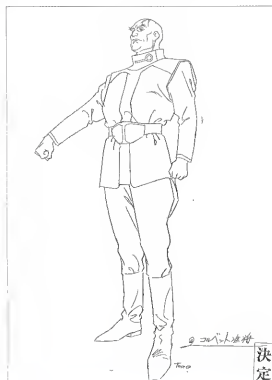
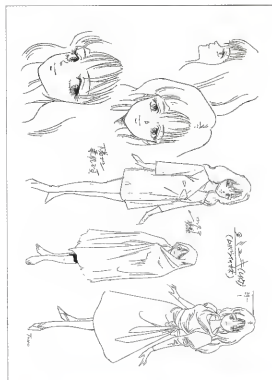
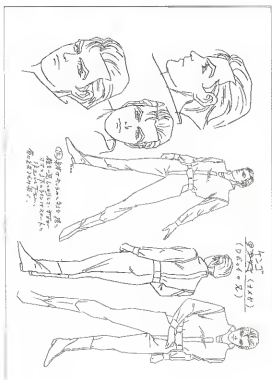


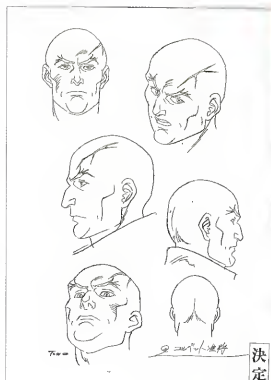
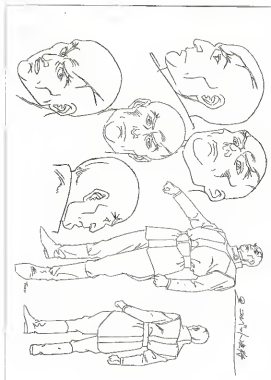
決定



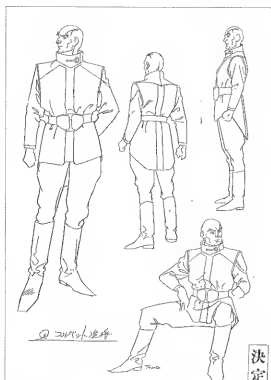
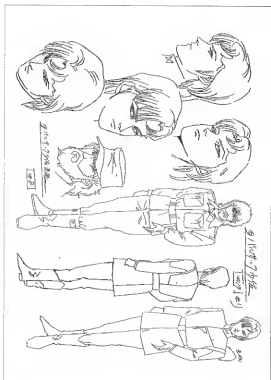
決定





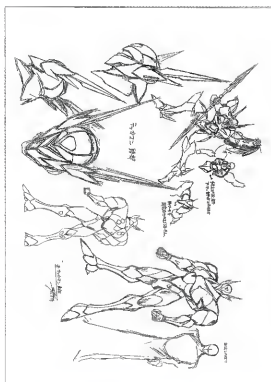
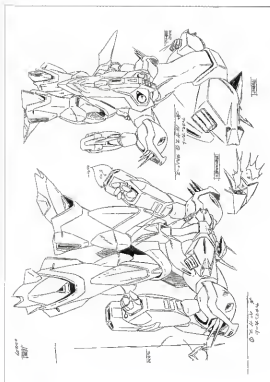
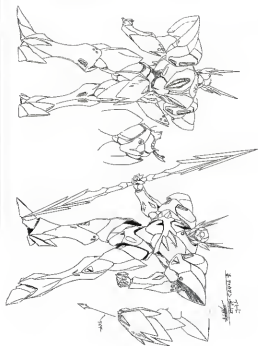
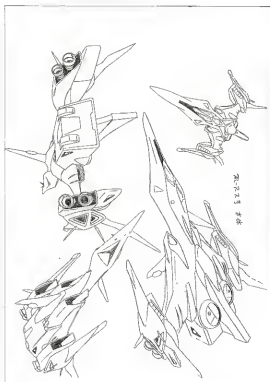


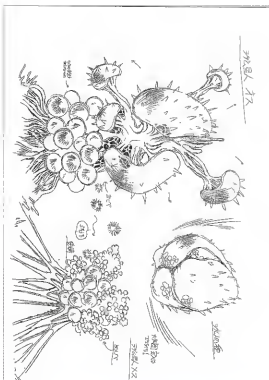
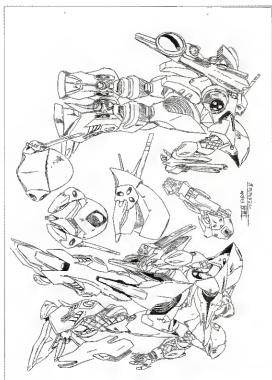
決定



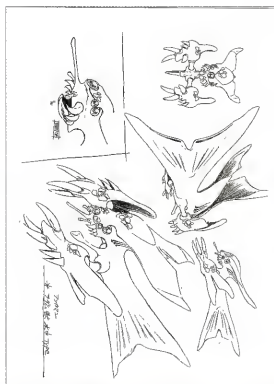
決定

機・機・機 機













HERO MOON 2056 エンターテインメント アーカイブ

宇宙の騎士

**デビルマン**  
HELLMAN BLADE

責任者 山内賢文 編集 幸村 博

発行所 株式会社ネロ バイリン グ <https://www.nero.co.jp>

〒141-8521 東京都品川区上大崎 3-1-1 田澤セントラルスクエア

カスタマーセンター 04-2944-4071 編集室 03-5745-7624

発行日 令和2年3月30日

©新橋 タツノコプロ

ISBN978-4-7770-2456-8

C9476 ¥2778E

定価 本体2,778円 +税

雑誌67330-56

Printed in Japan



NEKO  
MOOK

宇宙の騎士イサム

イサム・ノグチの傑作、徹底解説

NEKO PUBLISHING CO. LTD.



宇宙の騎士  
**テッカマンブレード**  
TEKKAMAN BLADE



